

平成 30 年 度  
事業報告書

東京都品川区旗の台一丁目5番8号



学校法人 昭和大学



## はじめに

平成 30 年度学校法人昭和大学事業報告書をここに上梓いたしました。

優れた医療人の育成のため、創設者の上條秀介博士が唱えた建学の精神である、常に真心をもって相手の立場で考える「至誠一貫」の体現に向け、諸事業に取り組みました。

法人の事業では、創立 90 周年記念事業の集大成にあたる、令和元年 11 月 10 日開催の「創立 90 周年記念式典・祝賀会」の具体的な内容の検討を行ったほか、同日開催の「第九演奏会」「上條ホール緞帳披露会」の検討や「創立 90 周年記念誌」及び「昭和大学式 地域めぐり（病院編）」の編集を進めました。また、藤が丘病院再整備については、横浜市、東京急行電鉄株式会社および本学の三者で新たなまちづくりに取り組むための「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結しました。その他、昭和大学と地域の交流を深めるため、昭和大学ふるさと会を設置いたしました。

教学面では、包括連携協定校の各大学の特色を生かした学術交流を推進することにより教育・芸術等の各面における充実と発展を図りました。また、平成 31 年度入学試験より医学部一般選抜入試（Ⅰ期）利用の歯学部・薬学部併願入学試験制度を導入いたしました。

研究面では、腫瘍分子生物学研究所を前身として、先端がん治療研究所を開設し、がん治療の診断・治療・予防技術の新規提案・開発の推進を行いました。また、研究支援体制を充実させるため、統括研究推進センターの設置の準備を進めました。

診療面では、各附属病院において、病院活性化推進委員会のプロジェクトを推進し、病院運営の円滑化・効率化を図りました。特に昭和大学病院においては、特定機能病院としての高度医療を提供すべく、高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価委員会を通じて新規医療の実践を図りました。

このように平成 30 年度も様々な事業を展開してまいりました。本事業報告書は、これら本学における主要な事業を総括し、関係各位の皆様方へご報告申し上げるものであります。本報告書が本学をご理解いただくための一助となれば幸いです。

学校法人 昭和大学  
理事長 小口 勝司



# 平成30年度 学校法人昭和大学 事業報告書

## 目 次

### 第1章 法人の概要

|    |                  |    |
|----|------------------|----|
| 1  | 建学の精神            | 1  |
| 1  | 1. 建学の精神         | 1  |
| 2  | 2. 昭和大学の教育理念     | 1  |
| 2  | 学校法人の沿革          | 1  |
| 3  | 学校法人昭和大学組織図      | 3  |
| 4  | 設置する学校・学部・学科     | 4  |
| 5  | 学校・学部・学科等の学生数の状況 | 4  |
| 6  | 理事・監事の概要         | 5  |
| 7  | 執行役員の概要          | 5  |
| 8  | 評議員の概要           | 6  |
| 9  | 職員の概要            | 8  |
| 1  | 1. 教育職員数         | 8  |
| 2  | 2. 職員数           | 8  |
| 10 | 志願者数、合格者数、入学者数   | 9  |
| 1  | 1. 学部            | 9  |
| 2  | 2. 大学院           | 9  |
| 3  | 3. 専攻科           | 9  |
| 4  | 4. 附属学校          | 9  |
| 11 | 卒業・修了者数          | 9  |
| 1  | 1. 学部            | 9  |
| 2  | 2. 大学院           | 9  |
| 3  | 3. 専攻科           | 10 |
| 4  | 4. 附属学校          | 10 |

|    |             |    |
|----|-------------|----|
| 12 | 国家試験結果      | 10 |
| 1. | 学部          | 10 |
| 2. | 医学部附属看護専門学校 | 11 |
| 3. | 助産学専攻科      | 11 |

## 第2章 事業の概要

### 第1部 平成30年度事業計画実施報告（重点目標と主要事業）

|    |                            |    |
|----|----------------------------|----|
| 1  | 法人の取り組み                    | 12 |
| 1. | 創立90周年記念事業                 | 12 |
| 2. | 上條記念館建設事業                  | 12 |
| 3. | 藤が丘病院再整備計画                 | 12 |
| 4. | 富士吉田校舎整備計画                 | 12 |
| 5. | 昭和大学ふるさと会設置                | 12 |
| 6. | 旗の台キャンパスCサイト整備計画           | 12 |
| 2  | 教育の充実                      | 13 |
| 1. | 指定校との交流の推進                 | 13 |
| 2. | 研究倫理教育の充実                  | 13 |
| 3. | 電子ポートフォリオのさらなる活用による教育改革の推進 | 13 |
| 4. | カリキュラムの充実                  | 13 |
| 5. | 医学部併願入学試験システム改修            | 13 |
| 3  | 研究の充実                      | 14 |
| 1. | 昭和大学研究所の活動推進               | 14 |
| 2. | 日本医療研究開発機構（AMED）採択研究の促進    | 14 |
| 3. | 研究ブランディング事業                | 14 |
| 4. | 研究活動の推進                    | 14 |
| 5. | 臨床研究環境の整備                  | 14 |
| 4  | 国際交流                       | 14 |
| 1. | 国際交流活動の強化                  | 14 |
| 5  | 附属病院の活性化                   | 15 |
| 1. | 昭和大学病院再整備                  | 15 |
| 2. | 電子カルテ導入後の体制整備              | 15 |
| 3. | 土曜週日化体制の評価・改善              | 15 |

|                      |    |
|----------------------|----|
| 4. 新専門医制度への体制整備      | 15 |
| 6 管理運営の充実            | 15 |
| 1. 管理運営体制の整備と円滑な大学運営 | 15 |
| 2. 施設設備の整備・活用        | 18 |
| 3. 福利厚生の実施           | 19 |
| 4. 広報活動・学生募集活動の実施    | 19 |
| 5. 他大学・地域との連携強化・充実   | 19 |
| 7 アスリート支援            | 20 |
| 1. アスリート支援事務室の設置     | 20 |
| 2. 女子アイスホッケークラブの創部   | 20 |

## 第2部 本学の事業

|                      |    |
|----------------------|----|
| 1 教育・研究の実施           | 21 |
| 1. 医学部・医学研究科         | 21 |
| 2. 歯学部・歯学研究科         | 22 |
| 3. 薬学部・薬学研究科         | 24 |
| 4. 保健医療学部・保健医療学研究科   | 25 |
| 5. 富士吉田教育部           | 27 |
| 6. 医学部附属看護専門学校       | 28 |
| 7. 助産学専攻科            | 28 |
| 8. 研究所・共同施設          | 29 |
| 2 学生・卒業生支援           | 35 |
| 1. 奨学金               | 35 |
| 2. キャリア支援            | 35 |
| 3. 健康管理              | 35 |
| 4. ホームカミングデー         | 35 |
| 5. 課外活動等             | 36 |
| 3 国際交流               | 37 |
| 1. 学生の海外の大学における実習・研修 | 37 |
| 2. 海外の大学との交流協定の締結    | 40 |
| 3. 職員の海外留学・海外渡航      | 41 |
| 4. 学部留学生・大学院留学生の受入れ  | 44 |
| 4 地域連携               | 46 |
| 1. 公開講座              | 46 |

|    |                |    |
|----|----------------|----|
| 5  | 図書館            | 50 |
| 1. | 図書の整備          | 50 |
| 6  | 診療施設           | 51 |
| 1. | 昭和大学病院         | 51 |
| 2. | 昭和大学病院附属東病院    | 52 |
| 3. | 藤が丘病院          | 52 |
| 4. | 藤が丘リハビリテーション病院 | 53 |
| 5. | 横浜市北部病院        | 53 |
| 6. | 江東豊洲病院         | 54 |
| 7. | 豊洲クリニック        | 54 |
| 8. | 烏山病院           | 54 |
| 9. | 歯科病院           | 55 |

### 第3章 財務の概要

|    |               |    |
|----|---------------|----|
| 1  | 決算の概要         | 56 |
| 1. | 貸借対照表の状況      | 56 |
| 2. | 収支計算書の状況      | 56 |
| 2  | 経年比較          | 57 |
| 1. | 貸借対照表         | 57 |
| 2. | 収支計算書         | 58 |
| 3  | 主な財務比率比較      | 62 |
| 4  | その他           | 63 |
| 1. | 借入金の状況        | 63 |
| 2. | 寄付金の状況        | 63 |
| 3. | 補助金の状況        | 63 |
| 4. | 関連当事者等との取引の状況 | 63 |

# 平成 30 年度 事業報告書

## 第 1 章 法人の概要

### [ 1 建学の精神]

#### 1. 建学の精神

「国民の健康に親身になって尽くせる優れた臨床医家を養成する」が本学の建学の精神である。これが何事にも真心をもって尽くす「至誠一貫」の言葉で受け継がれている。

#### 2. 昭和大学の教育理念

医系総合大学の特徴を生かし、専門領域の高度な知識と技能を身につけるとともに、学部の枠を越えてともに学び、互いに理解し合え、協力できる人材を育成する。そして、その専門職にふさわしい人間性豊かな医療が実践でき、高い倫理性と豊かな社会性を備え、生涯にわたって学習・研究を怠らず医療の向上に邁進する、真の医療人たりうる資質を磨き上げる。

すなわち、「社会に貢献する優れた医療人の育成」である。

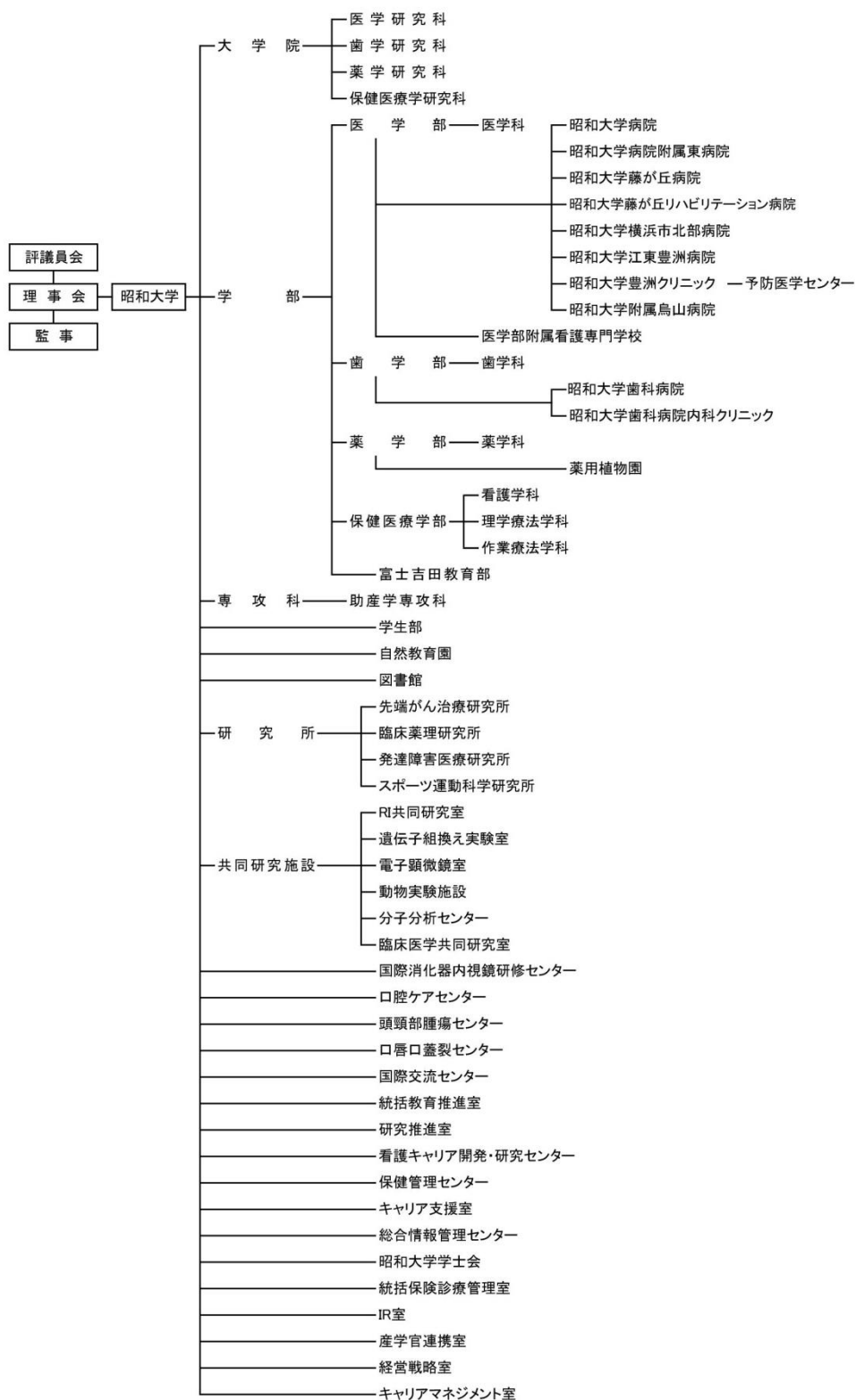
### [ 2 学校法人の沿革]

|                     |                             |
|---------------------|-----------------------------|
| 昭和 3 (1928) 年 3 月   | 財団法人昭和医学専門学校設置認可            |
| 5 月                 | 医学専門学校附属医院開院（現在の昭和大学病院）     |
| 昭和 6 (1931) 年 8 月   | 附属産婆看護婦講習所設置認可              |
| 昭和 21 (1946) 年 4 月  | 財団法人昭和医科大学設置認可（大学令による医科大学）  |
| 昭和 26 (1951) 年 2 月  | 財団法人から学校法人に組織変更             |
| 7 月                 | 烏山病院開院                      |
| 昭和 27 (1952) 年 2 月  | 昭和医科大学医学科（専門課程）設置（学校教育法による） |
| 昭和 34 (1959) 年 3 月  | 大学院医学研究科（博士課程）設置認可          |
| 昭和 39 (1964) 年 3 月  | 昭和大学に名称変更                   |
|                     | 薬学部薬学科設置認可                  |
|                     | 医学部附属高等看護学校設置認可             |
| 昭和 40 (1965) 年 4 月  | 富士吉田校舎開設                    |
| 昭和 41 (1966) 年 12 月 | 薬学部生物薬学科設置認可                |
| 昭和 44 (1969) 年 3 月  | 大学院薬学研究科（修士課程）設置認可          |
| 昭和 47 (1972) 年 12 月 | 昭和大学附属烏山病院高等看護学校設置認可        |
| 昭和 49 (1974) 年 3 月  | 大学院薬学研究科（博士課程）設置認可          |
| 昭和 50 (1975) 年 7 月  | 昭和大学附属烏山病院高等看護学校第二看護学科設置認可  |
|                     | 藤が丘病院開院                     |
| 昭和 51 (1976) 年 9 月  | 昭和大学附属烏山高等看護学校（専修学校に切替）     |
| 昭和 52 (1977) 年 1 月  | 歯学部歯学科設置認可                  |

|                  |                                 |
|------------------|---------------------------------|
| 昭和52(1977)年 6 月  | 歯科病院開院                          |
| 昭和53(1978)年11月   | 医学部附属看護専門学校設置認可（専修学校に切替）        |
| 昭和57(1982)年 6 月  | 豊洲病院開院                          |
| 昭和58(1983)年 3 月  | 大学院歯学研究科（博士課程）設置認可              |
| 平成 2 (1990)年 6 月 | 藤が丘リハビリテーション病院開院                |
| 平成 6 (1994)年 4 月 | 昭和大学附属烏山看護専門学校と名称変更             |
| 平成 8 (1996)年 3 月 | 昭和大学附属秋田外科病院廃止                  |
| 12月              | 昭和大学医療短期大学設置認可                  |
| 平成 9 (1997)年 1 月 | 昭和大学腫瘍分子生物学研究所開設                |
| 12月              | 大学院薬学研究科設置認可                    |
|                  | 薬学専攻・医療薬学専攻 博士課程（前期・後期）         |
| 平成11(1999)年 4 月  | 昭和大学病院附属東病院開院                   |
| 平成13(2001)年 2 月  | 診療放射線専門学校設置認可                   |
| 4 月              | 横浜市北部病院開院                       |
| 12月              | 昭和大学保健医療学部設置認可                  |
| 平成17(2005)年 3 月  | 昭和大学附属烏山看護専門学校廃止                |
| 5 月              | 昭和大学医療短期大学廃止                    |
| 平成18(2006)年 4 月  | 保健医療学部看護学科助産師学校指定               |
| 4 月              | 教養部を改組し富士吉田教育部設置                |
| 4 月              | 薬学部 6 年制教育開始に伴い薬学科、生物薬学科を薬学科に改組 |
| 11月              | 豊洲クリニック開院                       |
| 11月              | 大学院保健医療学研究科（修士課程）設置認可           |
| 平成23(2011)年 3 月  | 診療放射線専門学校廃止                     |
| 4 月              | 大学院薬学研究科博士課程（前期）廃止              |
| 5 月              | 大学院薬学研究科博士課程（後期）募集停止            |
| 6 月              | 大学院薬学研究科博士課程（4 年制課程）設置届出        |
| 10月              | 大学院保健医療学研究科課程変更認可               |
|                  | 保健医療学専攻 博士課程（前期・後期）             |
| 平成24(2012)年 4 月  | 助産学専攻科 助産師学校指定                  |
| 平成26(2014)年 3 月  | 豊洲病院廃止（江東豊洲病院へ診療体制移行）           |
|                  | 江東豊洲病院開院                        |
| 平成26(2014)年 4 月  | 臨床薬理研究所、発達障害医療研究所開設             |
| 平成27(2015)年 4 月  | スポーツ運動科学研究所開設                   |
| 平成28(2016)年 4 月  | 歯科病院内科クリニック開院                   |
| 平成30(2018)年 8 月  | 先端がん治療研究所開設                     |

### [ 3 学校法人昭和大学組織図 ]

学校法人昭和大学組織図（平成30年11月13日）



#### [ 4 設置する学校・学部・学科]

| 設置する学校          | 開校年月      | 学部・学科等                 | 摘 要                                  |
|-----------------|-----------|------------------------|--------------------------------------|
| 昭 和 大 学         | 昭和27年 4 月 | 医学部・医学科                |                                      |
|                 | 昭和52年 4 月 | 歯学部・歯学科                |                                      |
|                 | 平成18年 4 月 | 薬学部・薬学科                | 薬学科、生物薬学科<br>(4 年制) を改組              |
|                 | 平成14年 4 月 | 保健医療学部・看護学科            |                                      |
|                 | 平成14年 4 月 | 保健医療学部・理学療法学科          |                                      |
|                 | 平成14年 4 月 | 保健医療学部・作業療法学科          |                                      |
|                 | 昭和34年 4 月 | 大学院医学研究科 (博士課程)        |                                      |
|                 | 昭和58年 4 月 | 大学院歯学研究科 (博士課程)        |                                      |
|                 | 平成10年 4 月 | 大学院薬学研究科 (博士前期課程)      | 修士課程を改組<br>平成22年度募集停止<br>平成23年 4 月廃止 |
|                 | 平成10年 4 月 | 大学院薬学研究科 (博士後期課程)      | 博士課程を改組<br>平成23年度募集停止<br>平成26年12月廃止  |
|                 | 平成24年 4 月 | 大学院薬学研究科 (博士課程) (4 年制) |                                      |
|                 | 平成24年 4 月 | 大学院保健医療学研究科 (博士前期課程)   | 修士課程を改組                              |
|                 | 平成24年 4 月 | 大学院保健医療学研究科 (博士後期課程)   |                                      |
|                 | 平成24年 4 月 | 助産学専攻科                 |                                      |
| 医学部附属<br>看護専門学校 | 昭和39年 4 月 | 看護学科                   |                                      |

#### [ 5 学校・学部・学科等の学生数の状況]

(平成30年5月1日現在)

| 学部・学校名      |                |         | 入学<br>定員数 | 収容<br>定員数 | 現員数    | 摘 要 |
|-------------|----------------|---------|-----------|-----------|--------|-----|
| 学<br>部      | 医学部            | 医学科     | 120       | 720       | 727    |     |
|             | 歯学部            | 歯学科     | 105       | 630       | 612    |     |
|             | 薬学部            | 薬学科     | 200       | 1, 200    | 1, 220 |     |
|             | 保健医療学部         | 看護学科    | 95        | 400       | 412    |     |
|             |                | ※3年次編入学 | 10        |           |        |     |
|             |                | 理学療法学科  | 30        | 120       | 147    |     |
|             |                | 作業療法学科  | 30        | 120       | 88     |     |
| 学部合計(編入学含む) |                | 590     | 3, 190    | 3, 206    |        |     |
| 大<br>学<br>院 | 医学研究科          |         | 60        | 240       | 296    |     |
|             | 歯学研究科          |         | 18        | 72        | 103    |     |
|             | 薬学研究科          |         | 8         | 32        | 70     |     |
|             | 保健医療学研究科（博士前期） |         | 10        | 20        | 36     |     |
|             | 保健医療学研究科（博士後期） |         | 4         | 12        | 14     |     |
|             | 大学院合計          |         | 100       | 376       | 519    |     |
| 助産学専攻科      |                |         | 15        | 15        | 12     |     |
| 医学部附属看護専門学校 |                | 看護学科    | 150       | 450       | 489    |     |

## [ 6 理事・監事の概要]

(平成31年3月31日現在)  
定員数 理事 10名～13名、監事 2名～3名

| 区 分 | 氏 名    | 常勤・非常勤 | 摘 要                                |
|-----|--------|--------|------------------------------------|
| 理事長 | 小口 勝司  | 常勤     | 平成12年4月1日理事就任<br>平成13年8月1日理事長就任    |
| 理 事 | 小出 良平  | 常勤     | 平成13年5月30日就任<br>平成25年7月28日昭和大学学長就任 |
| 理 事 | 小川 良雄  | 常勤     | 平成29年4月1日就任                        |
| 理 事 | 宮崎 隆   | 常勤     | 平成15年4月1日就任                        |
| 理 事 | 中村 明弘  | 常勤     | 平成28年4月1日就任                        |
| 理 事 | 下司 映一  | 常勤     | 平成27年4月1日就任                        |
| 理 事 | 久光 正   | 常勤     | 平成20年4月1日就任                        |
| 理 事 | 内田 樹   | 非常勤    | 平成23年4月1日就任                        |
| 理 事 | 上條 由美  | 常勤     | 平成26年4月1日就任                        |
| 理 事 | 三邊 武幸  | 常勤     | 平成28年4月1日就任                        |
| 理 事 | 眞田 裕   | 非常勤    | 平成24年4月1日就任                        |
| 理 事 | 新井 一成  | 常勤     | 平成24年4月1日就任                        |
| 理 事 | 野中 明人  | 非常勤    | 平成28年4月1日就任                        |
| 監 事 | 小林 節   | 非常勤    | 平成21年5月9日就任                        |
| 監 事 | 飯島 裕之  | 非常勤    | 平成28年4月1日就任                        |
| 監 事 | 細山田 明義 | 非常勤    | 平成24年4月1日就任                        |

## [ 7 執行役員の概要]

(平成31年3月31日現在)

| 氏 名    | 現職                  |
|--------|---------------------|
| 小風 暁   | 昭和大学大学院医学研究科長       |
| 高見 正道  | 昭和大学大学院歯学研究科長       |
| 野部 浩司  | 昭和大学大学院薬学研究科長       |
| 三村 洋美  | 昭和大学大学院保健医療学研究科長    |
| 板橋 家頭夫 | 昭和大学病院長             |
| 稲垣 克記  | 昭和大学病院附属東病院長        |
| 高橋 寛   | 昭和大学藤が丘病院長          |
| 市川 博雄  | 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院長 |
| 門倉 光隆  | 昭和大学横浜市北部病院長        |
| 笠間 毅   | 昭和大学江東豊洲病院長         |
| 岩波 明   | 昭和大学附属烏山病院長         |

| 氏 名   | 現職           |
|-------|--------------|
| 槇 宏太郎 | 昭和大学歯科病院長    |
| 赤堀 明人 | 学校法人昭和大学事務局長 |

## [ 8 評議員の概要]

(平成31年3月31日現在)  
定員数 45名～68名

| 氏 名     | 寄附行為該当 | 主な現職等                                    |
|---------|--------|------------------------------------------|
| 田中 和生   | 第1号評議員 | 昭和大学医学部教授                                |
| 木内 祐二   | 第1号評議員 | 昭和大学医学部教授                                |
| 小風 暁    | 第1号評議員 | 昭和大学医学部教授                                |
| 大塚 成人   | 第1号評議員 | 昭和大学医学部教授                                |
| 後閑 武彦   | 第1号評議員 | 昭和大学副学長<br>昭和大学医学部教授                     |
| 村上 雅彦   | 第1号評議員 | 昭和大学病院副院長<br>昭和大学医学部教授                   |
| 小川 良雄   | 第1号評議員 | 昭和大学医学部長<br>昭和大学医学部教授                    |
| 大嶽 浩司   | 第1号評議員 | 昭和大学病院副院長<br>昭和大学医学部教授                   |
| 稲垣 克記   | 第1号評議員 | 昭和大学病院附属東病院長                             |
| 井上 富雄   | 第1号評議員 | 昭和大学歯学部教授                                |
| 槇 宏太郎   | 第1号評議員 | 昭和大学歯科病院長<br>昭和大学歯学部教授                   |
| 上條 竜太郎  | 第1号評議員 | 昭和大学歯学部教授                                |
| 伊藤 喬    | 第1号評議員 | 昭和大学薬学部教授                                |
| 板部 洋之   | 第1号評議員 | 昭和大学薬学部教授                                |
| 沼澤 聡    | 第1号評議員 | 昭和大学薬学部教授                                |
| 宮川 哲夫   | 第1号評議員 | 昭和大学保健医療学部教授                             |
| 富田 真佐子  | 第1号評議員 | 昭和大学保健医療学部教授                             |
| 志水 宏行   | 第1号評議員 | 昭和大学保健医療学部教授                             |
| 平井 康昭   | 第1号評議員 | 昭和大学富士吉田教育部教授                            |
| 長谷川 真紀子 | 第1号評議員 | 昭和大学富士吉田教育部教授                            |
| 倉田 知光   | 第1号評議員 | 昭和大学富士吉田教育部教授                            |
| 赤堀 明人   | 第1号評議員 | 学校法人昭和大学事務局長                             |
| 永井 誠    | 第1号評議員 | 学校法人昭和大学財務部長                             |
| 増田 千鶴子  | 第1号評議員 | 学校法人昭和大学統括看護部長                           |
| 杉崎 徹三   | 第2号評議員 | 昭和大学名誉教授                                 |
| 山本 登    | 第2号評議員 | 昭和大学医学部客員教授<br>昭和大学医学部同窓会長<br>医療法人五星会理事長 |

| 氏 名    | 寄附行為該当 | 主な現職等                             |
|--------|--------|-----------------------------------|
| 大 祢 廣伸 | 第2号評議員 | 中央大祢整形形成外科院長                      |
| 筒井 廣明  | 第2号評議員 | 昭和大学医学部客員教授                       |
| 世良田 和幸 | 第2号評議員 | 昭和大学医学部名誉教授                       |
| 高木 康   | 第2号評議員 | 昭和大学副学長                           |
| 吉田 篤正  | 第2号評議員 | 医療法人弘医会吉田医院院長                     |
| 横川 敏男  | 第2号評議員 | 横川医院院長                            |
| 米山 啓一郎 | 第2号評議員 | 昭和大学副学長                           |
| 田中 一正  | 第2号評議員 | 昭和大学特任教授                          |
| 九島 巳樹  | 第2号評議員 | 昭和大学医学部教授                         |
| 大多和 実  | 第2号評議員 | 大多和歯科診療所                          |
| 大谷 俊一  | 第2号評議員 | 大谷歯科院長                            |
| 小原 希生  | 第2号評議員 | 小原歯科医院院長<br>昭和大学歯学部同窓会長           |
| 山藤 武久  | 第2号評議員 | 昭和大学薬学部客員教授                       |
| 塩原 仁子  | 第2号評議員 | 昭和大学薬学部客員講師                       |
| 松澤 邦雄  | 第2号評議員 | 世田谷薬剤師会監事                         |
| 佐藤 淳一  | 第2号評議員 | 田辺薬局株式会社代表取締役社長<br>昭和大学薬学部同窓会長    |
| 稲垣 昌博  | 第2号評議員 | 昭和大学富士吉田教育部教授                     |
| 仲保 徹   | 第2号評議員 | 昭和大学保健医療学部准教授<br>昭和大学保健医療学部同窓会長   |
| 小出 良平  | 第3号評議員 | 昭和大学学長<br>昭和大学名誉教授                |
| 宮崎 隆   | 第4号評議員 | 昭和大学副学長<br>昭和大学歯学部部長<br>昭和大学歯学部教授 |
| 中村 明弘  | 第4号評議員 | 昭和大学薬学部部長<br>昭和大学薬学部教授            |
| 下司 映一  | 第4号評議員 | 昭和大学保健医療学部部長<br>昭和大学保健医療学部教授      |
| 板橋 家頭夫 | 第4号評議員 | 昭和大学病院長                           |
| 高橋 寛   | 第4号評議員 | 昭和大学藤が丘病院長                        |
| 市川 博雄  | 第4号評議員 | 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院長               |
| 門倉 光隆  | 第4号評議員 | 昭和大学横浜市北部病院長                      |
| 笠間 毅   | 第4号評議員 | 昭和大学江東豊洲病院長                       |
| 岩波 明   | 第4号評議員 | 昭和大学附属烏山病院長                       |
| 鬼塚 卓彌  | 第5号評議員 | 昭和大学名誉教授<br>学校法人昭和大学特別顧問          |
| 高場 利博  | 第5号評議員 | 昭和大学名誉教授<br>学校法人昭和大学顧問            |
| 塩川 朋義  | 第5号評議員 |                                   |

| 氏 名   | 寄附行為該当 | 主な現職等                                       |
|-------|--------|---------------------------------------------|
| 上條 由美 | 第5号評議員 | 昭和大学江東豊洲病院副院長<br>昭和大学大学院保健医療学研究科教授          |
| 田口 進  | 第5号評議員 | 昭和大学医学部客員教授                                 |
| 久光 正  | 第5号評議員 | 昭和大学副学長<br>昭和大学富士吉田教育部長<br>昭和大学医学部附属看護専門学校長 |
| 松田 厚恵 | 第6号評議員 | 昭和大学医学部客員教授                                 |
| 鎗木 衡平 | 第6号評議員 | 有限会社アイ・ティエス代表取締役                            |
| 小口 勝司 | 第6号評議員 | 学校法人昭和大学理事長<br>昭和大学名誉教授                     |

## [ 9 職員の概要]

### 1. 教育職員数

(平成30年5月1日現在)

| 学校・学部等      | 専任教育職員数 |     |     |     |       |      |       | 兼任  |
|-------------|---------|-----|-----|-----|-------|------|-------|-----|
|             | 学長      | 教授  | 准教授 | 講師  | 助教    | 教育職員 | 合計    |     |
| 医学部         | 1       | 118 | 106 | 234 | 1,015 | 0    | 1,474 | 178 |
| 歯学部         | 0       | 28  | 17  | 42  | 163   | 0    | 250   | 161 |
| 薬学部         | 0       | 29  | 20  | 30  | 122   | 0    | 201   | 32  |
| 保健医療学部      | 0       | 21  | 20  | 90  | 1     | 0    | 132   | 16  |
| 医学部附属看護専門学校 | 0       | 0   | 0   | 0   | 0     | 31   | 31    | 29  |
| 合 計         | 1       | 196 | 163 | 396 | 1,301 | 31   | 2,088 | 416 |

### 2. 職員数

(平成30年5月1日現在)

| 学校・学部等             | 事務系 | 教務系 | 厚生<br>補導系 | 技術<br>技能系 | 医療系   | その他 | 合計    | 兼務 |
|--------------------|-----|-----|-----------|-----------|-------|-----|-------|----|
| 法人部門               | 52  | 0   | 0         | 0         | 0     | 0   | 52    | 0  |
| 昭和大学医学部            | 32  | 7   | 8         | 8         | 0     | 0   | 55    | 0  |
| 昭和大学歯学部            | 35  | 1   | 4         | 5         | 0     | 0   | 45    | 0  |
| 昭和大学薬学部            | 47  | 3   | 9         | 7         | 0     | 0   | 66    | 0  |
| 昭和大学保健医療学部         | 32  | 2   | 4         | 6         | 0     | 0   | 44    | 0  |
| 昭和大学医学部附属看護専門学校    | 5   | 0   | 0         | 0         | 0     | 0   | 5     | 0  |
| 昭和大学病院             | 102 | 0   | 0         | 0         | 1,326 | 4   | 1,432 | 0  |
| 昭和大学病院附属東病院        | 22  | 0   | 0         | 0         | 205   | 1   | 228   | 0  |
| 昭和大学藤が丘病院          | 77  | 0   | 0         | 5         | 948   | 0   | 1,030 | 0  |
| 昭和大学藤が丘ハートリテーション病院 | 13  | 0   | 0         | 0         | 203   | 0   | 216   | 0  |
| 昭和大学横浜市北部病院        | 62  | 0   | 0         | 0         | 976   | 0   | 1,038 | 0  |
| 昭和大学江東豊洲病院         | 32  | 0   | 0         | 0         | 536   | 0   | 568   | 0  |
| 昭和大学附属烏山病院         | 20  | 0   | 0         | 3         | 207   | 0   | 230   | 0  |
| 昭和大学豊洲クリニック        | 2   | 0   | 0         | 0         | 1     | 0   | 3     | 0  |
| 昭和大学歯科病院           | 26  | 0   | 0         | 1         | 163   | 1   | 191   | 0  |
| 合 計                | 559 | 13  | 25        | 35        | 4,565 | 6   | 5,203 | 0  |

[10 志願者数、合格者数、入学者数（平成 30 年度入学者）]

| 学部・学校名        |                |             | 入学定員数         | 志願者数         | 合格者数       | 入学者数 |
|---------------|----------------|-------------|---------------|--------------|------------|------|
| 学部            | 医学部            | 医学科         | 120           | 5,933        | 335        | 120  |
|               | 歯学部            | 歯学科         | 105           | 947          | 178        | 96   |
|               |                | （1 年次編入学）   | （若干名）         | （11）         | （2）        | （2）  |
|               | 薬学部            | 薬学科         | 200           | 1,813        | 384        | 215  |
|               | 保健医療学部         | 看護学科        | 95            | 880          | 228        | 98   |
|               |                | （3 年次編入学）   | （10）          | （6）          | （4）        | （3）  |
|               |                | 理学療法学科      | 30            | 217          | 86         | 36   |
|               |                | 作業療法学科      | 30            | 142          | 59         | 28   |
| 学部合計<br>（編入学） |                | 580<br>（10） | 9,932<br>（17） | 1,239<br>（6） | 593<br>（5） |      |
| 大学院           | 医学研究科          |             | 60            | 44           | 44         | 43   |
|               | 歯学研究科          |             | 18            | 32           | 31         | 30   |
|               | 薬学研究科（4 年制）    |             | 8             | 21           | 20         | 19   |
|               | 保健医療学研究科（博士前期） |             | 10            | 30           | 25         | 24   |
|               | 保健医療学研究科（博士後期） |             | 4             | 12           | 11         | 11   |
|               | 大学院合計          |             | 100           | 139          | 131        | 127  |
| 助産学専攻科        |                |             | 15            | 52           | 15         | 12   |
| 医学部附属看護専門学校   |                | 看護学科        | 150           | 585          | 220        | 172  |

[11 卒業・修了者数（平成 30 年度）]

1. 学部

| 学部     | 学科     | 卒業者数 |
|--------|--------|------|
| 医学部    | 医学科    | 116  |
| 歯学部    | 歯学科    | 94   |
| 薬学部    | 薬学科    | 211  |
| 保健医療学部 | 看護学科   | 101  |
|        | 理学療法学科 | 37   |
|        | 作業療法学科 | 25   |
| 合 計    |        | 584  |

2. 大学院

| 研究科              | 修了者数 |
|------------------|------|
| 医学研究科            | 58   |
| 歯学研究科            | 27   |
| 薬学研究科            | 10   |
| 保健医療学研究科（博士前期課程） | 16   |
| 保健医療学研究科（博士後期課程） | 3    |
| 合 計              | 114  |

### 3. 専攻科

| 専攻科    | 修了者数 |
|--------|------|
| 助産学専攻科 | 9    |

### 4. 附属学校

| 学校名         | 卒業生数 |
|-------------|------|
| 医学部附属看護専門学校 | 152  |

## [12 国家試験結果（平成 30 年）]

### 1. 学部

①第 113 回医師国家試験（合格発表：平成 31 年 3 月 18 日）

|      | 新卒    | 既卒   | 総数    | 全国     | 全私立大学 |
|------|-------|------|-------|--------|-------|
| 受験者数 | 116   | 8    | 124   | 10,146 | 3,646 |
| 合格者数 | 113   | 0    | 113   | 9,029  | 3,241 |
| 合格率  | 97.4% | 0.0% | 91.1% | 89.0%  | 88.9% |

②第 112 回歯科医師国家試験（合格発表：平成 31 年 3 月 18 日）

|      | 新卒    | 既卒    | 総数    | 全国    | 全私立大学 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 受験者数 | 94    | 30    | 124   | 3,232 | 2,449 |
| 合格者数 | 80    | 19    | 99    | 2,059 | 1,446 |
| 合格率  | 85.1% | 63.3% | 79.8% | 63.7% | 59.0% |

③第 104 回薬剤師国家試験（合格発表：平成 31 年 3 月 25 日）

|      | 新卒     | 既卒（※）      | 総数         | 全国     | 全私立大学  |
|------|--------|------------|------------|--------|--------|
| 受験者数 | 195    | 58（1）      | 253（1）     | 14,376 | 13,445 |
| 合格者数 | 164    | 31（0）      | 195（0）     | 10,194 | 9,391  |
| 合格率  | 84.10% | 53.45%（0%） | 77.07%（0%） | 70.91% | 69.85% |

※ 〇 は、旧 4 年制卒業生

④第 108 回看護師国家試験（合格発表：平成 31 年 3 月 22 日）

|      | 新卒    | 既卒   | 総数    | 全国（大学） |
|------|-------|------|-------|--------|
| 受験者数 | 98    | 0    | 98    | 63,603 |
| 合格者数 | 97    | 0    | 97    | 56,767 |
| 合格率  | 99.0% | 0.0% | 99.0% | 89.3%  |

⑤第 105 保健師国家試験（合格発表：平成 31 年 3 月 22 日）

s

|      | 新卒    | 既卒    | 総数    | 全国（大学） |
|------|-------|-------|-------|--------|
| 受験者数 | 24    | 3     | 27    | 8,376  |
| 合格者数 | 23    | 2     | 25    | 6,852  |
| 合格率  | 95.8% | 66.7% | 92.6% | 81.8%  |

⑥第 54 回理学療法士国家試験（合格発表：平成 31 年 3 月 25 日）

|      | 新卒    | 既卒     | 総数    | 全国     |
|------|-------|--------|-------|--------|
| 受験者数 | 37    | 2      | 39    | 12,605 |
| 合格者数 | 36    | 2      | 38    | 10,809 |
| 合格率  | 97.3% | 100.0% | 97.4% | 85.8%  |

⑦第 54 回作業療法士国家試験（合格発表：平成 31 年 3 月 25 日）

|      | 新卒    | 既卒    | 総数    | 全国    |
|------|-------|-------|-------|-------|
| 受験者数 | 25    | 4     | 29    | 6,358 |
| 合格者数 | 24    | 3     | 27    | 4,531 |
| 合格率  | 96.0% | 75.0% | 93.1% | 71.3% |

## 2. 医学部附属看護専門学校

①第 108 回看護師国家試験（合格発表：平成 31 年 3 月 22 日）

|      | 新卒    | 既卒    | 総数    | 全国     |
|------|-------|-------|-------|--------|
| 受験者数 | 151   | 3     | 154   | 25,706 |
| 合格者数 | 149   | 2     | 151   | 23,820 |
| 合格率  | 98.7% | 66.7% | 98.1% | 92.7%  |

## 3. 助産学専攻科

①第 102 回助産師国家試験（合格発表：平成 31 年 3 月 22 日）

|      | 新卒     | 既卒 | 総数     | 全国    |
|------|--------|----|--------|-------|
| 受験者数 | 9      | 0  | 9      | 2,105 |
| 合格者数 | 9      | 0  | 9      | 2,096 |
| 合格率  | 100.0% | －  | 100.0% | 99.6% |

## 第2章 事業の概要（重点目標と主要事業）

### 第1部（平成30年度事業計画実施報告（重点目標と主要事業））

#### [1 法人の取組み]

##### 1. 創立90周年記念事業

創立90周年記念事業の集大成にあたる、令和元年11月10日開催の「創立90周年記念式典・祝賀会」の具体的内容の検討を行いました。また、同日開催の「第九演奏会」「上條ホール緞帳披露会」の検討や「創立90周年記念誌」および「昭和大学式 地域めぐり（病院編）」の編集を進めました。

##### 2. 上條記念館建設事業

平成31年4月末に上條記念館が竣工しました。

##### 3. 藤が丘病院再整備計画

平成30年10月に、横浜市、東京急行電鉄株式会社および本学の三者で「駅前施設・病院・公園」が一体となった新たなまちづくりに取り組むための「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結しました。

##### 4. 富士吉田校舎整備計画

富士吉田校舎温泉エネルギー活用プロジェクトの答申に基づき、平成30年4月に温泉掘削工事を開始しました。平成30年11月末に地下1,500mに及ぶ掘削工事が完了し温泉が湧出しました。また、富士吉田校舎5号館の4教室においてデジタル映像設備の更新を実施し、充実した教育環境の整備に努めました。

##### 5. 昭和大学ふるさと会設置

設立初年度として、全職員を対象としたふるさと出身地調査を実施しました。平成30年7月にはふるさと会発足式を行い、順次指定11地域で懇親会が開催され、地域ふるさと会がスタートしました。

同時に、地方同窓会支部会開催時に本部統括主管が挨拶に参加し、入学広報の協力を依頼しました。2月には鹿児島ふるさと会の会員10名がふるさとに帰り、同窓会鹿児島県支部会に参加したことで、地方と大学をつなぐ懇親がスタートしました。

また、平成31年3月には今年度の活動を総括した「昭和大学ふるさと会 会報誌」を創刊しました。

##### 6. 旗の台キャンパスCサイト整備計画

旗の台キャンパスCサイト整備の最初の事業である上條記念館建設事業が平成31年4月末に完了しました。また、キャンパス全体の将来を見据えた用地の取得を行いました。

## **[ 2 教育の充実]**

### **1. 協定校との交流の推進**

#### **(1) 包括連携協定校**

各大学の特色を活かした学術交流を推進することにより、教育・芸術等の各面における充実と発展を図りました。附属病院内への多摩美術大学の学生の作品展示や同大学生と本学保健医療学部生との合同授業の実施や平成 31 年 3 月に举行された平成 30 年度昭和大学卒業式では、開式にあたり、洗足学園音楽大学卒業生によるパイプオルガンの演奏が行われました。

#### **(2) 特別協定校**

平成 29 年度から特別協定校として協定を締結している昭和女子大学附属昭和高等学校に加え、平成 30 年度は森村学園高等学校と協定を締結しました。両校において、「救急蘇生の体験授業」や「医療系職業の紹介」、「いのちの授業」など様々な交流活動を行い、高大連携を強めました。また、特別協定校対象推薦入学試験を実施いたしました。

### **2. 研究倫理教育の充実**

研究倫理教育の充実のため、平成 29 年度の大学院研究科修了者から学位論文提出要件として、CITI Japan(e ラーニング)の基礎コース(6 単元)を必須としました。また、新入生については 1・2 年次に原則受講することとし、大学院での研究遂行の健全性や、信頼性の向上に努めました。

### **3. 電子ポートフォリオのさらなる活用による教育改革の推進**

学部教育では、学部連携カリキュラムにおける電子ポートフォリオの利用だけでなく、各学部の臨床実習等における利用を促進しました。また、卒後教育では、利便性の高いシステム導入に向けた準備を進めました。

### **4. カリキュラムの充実**

各学部でカリキュラム検討委員会、プログラム評価委員会を開催し、教育委員会・IR 室との連携を図り、教育プログラムの PDCA サイクルを回し、教育の質の向上・充実に努めました。

また、医学部では医学教育分野別認証評価を受審し、外部評価委員からの指摘、意見等を参考に、カリキュラム改変の準備を進めました。

### **5. 医学部併願入学試験システム改修**

平成 31 年度入学試験より、医学部一般選抜入試（Ⅰ期）利用の歯学部・薬学部併願入学試験制度を導入しました。

### [ 3 研究の充実]

#### 1. 昭和大学研究所の活動推進

臨床薬理研究所、発達障害医療研究所およびスポーツ運動科学研究所において、それぞれの特色を生かした研究活動を推進しました。また、平成 30 年 8 月には腫瘍分子生物学研究所を前身とし、先端がん治療研究所を開設し、がん治療の診断・治療・予防技術の新規提案・開発を目標に研究を推進しました。

#### 2. 日本医療研究開発機構（AMED）採択研究の促進

今年度も日本医療研究開発機構（AMED）委託研究開発費に、発達障害医療研究所の研究事業が採択されました。

#### 3. 研究ブランディング事業

平成30年度「健康長寿セミナー」と予防・維持班「公開セミナー」を、旗の台キャンパスと横浜キャンパスで開催し、学内の教育職員 6 名の講演を行いました。また、平成31年 2 月に平成30年度研究成果報告会・シンポジウムを旗の台キャンパスで開催しました。シンポジウムでは、東北大学大学院斎藤芳郎教授の講演「生体内レドックス制御因子セレノプロテインPの機能と疾患」が行われました。研究成果報告会では、平成30年度の研究概要説明と研究分担者によるポスター発表が行われ、研究成果の社会への還元と研究の更なる推進を図りました。

#### 4. 研究活動の推進

研究支援体制を充実させるため、統括研究推進センターを設置する準備を進めました。また、新しく実施した科研費獲得奨励研究費を開始し、文部科学省科学研究費の不採択者に対して講座研究費を再配分し、次年度以降の科学研究費の申請と獲得に向けての支援を行いました。

#### 5. 臨床研究環境の整備

臨床研究法における特定臨床研究を審査する委員会、「学校法人昭和大学臨床研究審査委員会」が平成 30 年 3 月に厚生労働大臣に認定されました。平成 30 年 4 月には委員会の審査意見業務等を適正に行うための「教育・研修」を委員および事務局担当者に対して実施しました。

また、平成 31 年 2 月に委員会の体制、審査意見業務が臨床研究法に基づく基準を満たしているかについて、厚生労働省医政局研究開発振興課が実施する実地調査を積極的に受け、指摘事項なく終了しました。

### [ 4 国際交流]

昨年度、姉妹校協定を締結した台北医科大学との学生の交換留学を行いました。また、オックスフォード大学やコロラド州立大学と新しい学生海外研修プログラムの策定に取り組みました。

今年度は新たに、医学部がタイ王国中央胸部疾患研究所と、歯学部が DA・パンドゥ・メモリアル・RV 歯科大学と学部間協定を締結しました。

第 8 回目となった昭和大学マダガスカル共和国口唇口蓋裂医療協力団の派遣では、21 件の手術を無事故で行い、メンバー 16 名全員が無事に帰国しました。

## [ 5 附属病院の活性化]

### 1. 昭和大学病院再整備

特定機能病院として高度医療を提供すべく、“高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価委員会”を通じて新規医療の実践を図りました。昭和大学病院あり方委員会での答申事項を踏まえ、平成30年度は入院棟10階病棟に無菌室の増設工事と、中央棟2階IVR装置の更新を実施しました。さらに、令和元年7月に完成を予定している中央棟リニアック増設工事に着手し、トモセラピー装置設置後の令和元年10月の稼働を目指し、工事を進めました。

### 2. 電子カルテ導入後の体制整備

次年度横浜市北部病院の電子カルテシステム更新では、藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院のシステムと統合を図り、1システム1サーバー化の実現に向けて検討を行いました。

また、大学病院のシステム導入に当たって、中央棟地下2階診療録管理室の縮小移転に伴い、空きスペースに地下1階から薬剤部を移転し、スペースの有効活用を行いました。

### 3. 土曜週日化体制の評価・改善

病院担当理事協議会において、土曜週日化体制における評価を行った結果、患者数・手術件数・検査件数増加のための策として、外来診療においては再診患者受入れから初診患者の受入れを中心とした診療体制への移行、検査においては入院中検査から外来検査を中心とした検査体制への移行を実施し、手術件数の増加に向け非常勤麻酔科医の採用および麻酔科医・術者のシフト再構築により手術件数増加を図りました。

### 4. 新専門医制度への体制整備

平成30年度から新専門医制度が開始され、基本19領域の分野において、本学の特色を生かした研修プログラムに基づき、合計126名の専攻医が採用され、専門医研修を開始しました。平成31年度の応募に向け、専門医プログラムを適切に修正・加筆し、学内の専門医プログラム説明会を4回実施したほか、外部の専攻医合同説明会に出展し、本学独自のプログラムの優れた点を積極的に広報することで、昨年度実績より多い151名の専攻医採用者が内定しました。

## [ 6 管理運営の充実]

### 1. 管理運営体制の整備と円滑な大学運営

#### (1) 活性化推進の活動

今年度は、法人・大学活性化推進委員会に4つ、病院活性化推進委員会に4つのプロジェクトを設置し、これらのプロジェクトからの答申を法人・大学および病院の運営方針に反映させました。

#### 【法人・大学活性化推進委員会】

|   |                                                                   |
|---|-------------------------------------------------------------------|
| ① | 学部学生海外研修費用補助のあり方検討プロジェクト<br>正課実習等の海外研修費用補助のあり方を検討し、グローバル教育の充実を図る。 |
|---|-------------------------------------------------------------------|

|   |                                                                               |
|---|-------------------------------------------------------------------------------|
| ② | 医歯薬学部合同の基礎研究センター設置検討プロジェクト<br>薬理科学研究センターと同様な研究センターを1号館に設置する検討を行い、研究の活性化を図る。   |
| ③ | 大学院薬学・医学部研究科制度見直し検討プロジェクト<br>基礎講座における助教（薬科）、助教（医科）の設置とその運用を検討し、大学院の活性化を図る。    |
| ④ | 薬学部進級・卒業制度、進級基準に関する検証プロジェクト<br>平成28年度プロジェクトの検証を行い、卒業・進級判定における適正な成績評価について検討する。 |

#### 【病院活性化推進委員会】

|   |                                                                             |
|---|-----------------------------------------------------------------------------|
| ① | 1次、2次救急運用検証プロジェクト<br>救急受け入れから外来診療、トリアージ、C9C運用、翌朝の転科までの流れを検証し、1次、2次救急の充実を図る。 |
| ② | ICU活用促進検討プロジェクト<br>病院運営にとって有用なICU活用を促進することについて検討し、充実を図る。                    |
| ③ | 病院勤務教育職員（医師）の働き方改革（シフト勤務）検証プロジェクト<br>医師のシフト勤務態勢を検証し、シフト勤務の充実を図る。            |
| ④ | 手術枠の中央管理制度設置検討プロジェクト<br>手術枠を中央管理し、悪性腫瘍手術の優先等を可能とし、手術室の合理的運用を図る。             |

#### （2）自己点検・評価活動の実施

今年度も全学的に自己点検・自己評価を実施し、その結果を「平成29年度自己点検・自己評価報告書」として刊行しました。自己評価により抽出した問題点の改善・改革案を今後の課題として見直し、教育・研究・診療活動の充実に向けて取り組みました。

#### （3）寄附金募集活動の強化

創立90周年記念事業募金について、各同窓会支部総会での役員によるPR活動等を行い、募集活動を強化しました。また、平成30年4月に本法人の維持および発展に寄与することを目的として、「昭和大学旗ヶ岡倶楽部」を発足しました。

#### （4）法人・大学運営戦略の強化

経営戦略情報室の名称を経営戦略室へと改めるとともに、より経営改善に直結する具体的な戦略の提言を行いました。具体的な提言として「新入院患者数増加策の策定」、「各附属病院における来院患者地域分析と紹介患者数増加策の策定」、「より効率的な手術室運用のための悪性

腫瘍手術ファストパスの導入」について各部署と協働の上、実施しました。

## (5) 至誠塾

本学の継続的な発展を期し、これを担う職員を育成するため、平成 21 年度より開塾しました。今年度、第 10 期生として 18 名が入塾し、大学運営に必要な知識等について学修を行いました。

### 【1 年次 講義内容】

| 回  | 内 容                          | 回  | 内 容                               |
|----|------------------------------|----|-----------------------------------|
| 1  | 入塾式                          | 17 | 進級・卒業判定 適正な成績評価                   |
| 2  | オリエンテーション                    | 18 | 労働条件と法律                           |
| 3  | 建学の精神と大学の歴史                  | 19 | 人事制度                              |
| 4  | 学校法人昭和大学寄附行為と関連する法律          | 20 | 危機管理                              |
| 5  | 昭和大学学則と関連する法律<br>大学及び大学院設置基準 | 21 | 資産運用と法律                           |
| 6  | 富士吉田全寮制度と昭和大学                | 22 | 設備保守と整備計画                         |
| 7  | 昭和大学教育の理念                    | 23 | 不動産と法律                            |
| 8  | 目標の設置と P D C A サイクル I        | 24 | 法人・大学活性化推進プロジェクト<br>病院活性化推進プロジェクト |
| 9  | 目標の設置と P D C A サイクル II       | 25 | 大学の広報                             |
| 10 | 富士吉田全寮制度と昭和大学                | 26 | 病院運営 I 病院見学                       |
| 11 | 学生支援（修学支援と生活支援）              | 27 | 病院運営 II 病院予算と事業計画                 |
| 12 | 大学組織と意思決定                    | 28 | 病院運営戦略 I                          |
| 13 | 決算書の見方 I                     | 29 | 病院運営戦略 II                         |
| 14 | 決算書の見方 II                    | 30 | 至誠塾 2 年次のテーマ                      |
| 15 | 事業計画と予算                      | 31 | 修了式                               |
| 16 | 入学者選抜                        |    |                                   |

## 2. 施設設備の整備・活用

### (1) 情報ネットワークの再整備

昨年度に引き続き、各キャンパスのネットワーク整備を進めるとともに、教育システム用サーバーの更新事業、ネットワークセキュリティ対策強化事業を推進しました。

### (2) 校地・校舎の取得

#### 【資産取得（校地）】

(取得日順)

| 旗の台校舎 近隣地                 |                                                                             |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 所在 / 地番<br>地目 / 地積<br>原 因 | 品川区旗の台一丁目 / 1032 番 14<br>宅地 / 127.33 m <sup>2</sup><br>平成 30 年 4 月 6 日 売買取得 |

| 旗の台校舎 近隣地                 |                                                                                      |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在 / 地番<br>地目 / 地積<br>原 因 | 品川区旗の台一丁目 / 1033 番 3、1033 番 4<br>宅地 / 542.50 m <sup>2</sup><br>平成 30 年 4 月 27 日 売買取得 |

| 富士吉田校舎 近隣地                |                                                                                                                   |
|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在 / 地番<br>地目 / 地積<br>原 因 | 富士吉田市松山字沢畑 / 1292 番、1293 番、1294 番 1、<br>1295 番 1、1296 番<br>宅地 / 33,368.93 m <sup>2</sup><br>平成 30 年 6 月 21 日 売買取得 |

| 旗の台校舎 近隣地                 |                                                                             |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 所在 / 地番<br>地目 / 地積<br>原 因 | 品川区旗の台六丁目 / 1062 番 9<br>宅地 / 801.72 m <sup>2</sup><br>平成 30 年 9 月 13 日 売買取得 |

#### 【資産取得（校舎）】

(取得日順)

| 旗の台校舎 近隣地                |                                                                                                      |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在 / 家屋番号<br>延床面積<br>原 因 | 品川区旗の台一丁目 1032 番地 14 / 1032 番 6 の 2<br>1032 番 6 の 3<br>128.06 m <sup>2</sup><br>平成 30 年 4 月 6 日 売買取得 |

| 旗の台校舎 近隣地                |                                                                                                                                                                                                       |
|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在 / 家屋番号<br>延床面積<br>原 因 | 品川区旗の台六丁目 1062 番地 9 / ①1062 番 5、<br>②1062 番 1 の 6、③1062 番 1 の 1、④1062 番 1 の 3<br>①39.66 m <sup>2</sup> 、②113.43 m <sup>2</sup> 、③71.06 m <sup>2</sup> 、④76.47 m <sup>2</sup><br>平成 30 年 9 月 13 日 売買取得 |

### 3. 福利厚生の充実

#### (1) 公認サークルの充実

平成 23 年度から設置された公認サークルでは、スポーツ系、音楽系、料理・食文化研究、ガーデニング、外国語・外国文化研究等、幅広い分野において活発な活動が行われ、多職種の職員の親睦が図られました。また、特に活動が活発であった 3 サークルを優秀サークルとして表彰しました。

※平成 30 年度優秀サークル

中華街探訪と食文化研究会、昭和大学格闘技愛好会、フラ・レイア

【サークル数】

| 年 度      | サークル数 |
|----------|-------|
| 平成 28 年度 | 100   |
| 平成 29 年度 | 100   |
| 平成 30 年度 | 91    |

### 4. 広報活動・学生募集活動の充実

今年度は昨年度の法人・大学活性化推進プロジェクト答申に基づき、本学の情報発信を積極的に行うツールとして、創立 90 周年特設サイト、受験生特設サイト、女子アイスホッケー特設サイトという多岐に亘る情報サイトを制作しました。併せて、テレビ CM 協賛、ラジオ時報 CM、看板広告（野球場等）、電車副駅名標広告・車内放送等も継続し、本学の知名度向上や学生募集のための広報活動を戦略的に行いました。

### 5. 他大学・地域との連携強化・充実

新たに学校法人日本体育大学、学校法人東京農業大学と包括連携協定を締結し、連携活動が停滞していた公立大学法人都留文科大学と平成 31 年 2 月に協定を解消しました。

平成 31 年 3 月に第 2 回学校法人昭和大学包括連携協定大学連絡協議会を開催し、各大学との更なる連携強化に努めるとともに、新規連携事業実施に向けて意見交換を行いました。また、昨年度に引き続き、下表の通り各大学との連携活動を実施しました。

【大学との連携内容一覧（協定締結順）】※今年度より実施しているものは下線

| 大学名                  | 協定締結日            | 連携内容                                                                      |
|----------------------|------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 学校法人 五島育英会<br>東京都市大学 | 平成 20 年 3 月 26 日 | ①工学部医用工学科実習の受け入れ<br>(平成 20 年度から)<br>②人間科学部児童学科病棟保育実習の受け入れ<br>(平成 24 年度から) |
| 学校法人 京都橘学園           | 平成 24 年 1 月 16 日 | ①連携講座「歴史遺産への招待」開講<br>(平成 26 年度から) 全学部 1 年生                                |
| 学校法人 恵泉女学園           | 平成 27 年 3 月 25 日 |                                                                           |

|             |                   |                                                                                                                                                      |
|-------------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校法人 多摩美術大学 | 平成 28 年 10 月 27 日 | ①連携講座<br>「感性を掘り下げる色彩と造形」開講<br>(平成 29 年度から) 全学部 1 年生<br>②合同授業「身体障害作業療法技術論」実施<br>(平成 30 年度から) 保健医療学部 3 年生<br>③昭和大学病院の公衆電話跡地を利用した<br><u>デジタルサイネージ展示</u> |
| 学校法人 洗足学園   | 平成 29 年 2 月 28 日  | ①院内コンサート開催 (横浜市北部病院)<br>②洗足学園大学学園祭に本学の 3 クラブが参加<br>③昭和大学スポーツ運動科学研究所と共同研究実施<br>④入職式・卒業式における演奏・公演協力<br>⑤富士吉田教育部教授による職員向け講義実施                           |
| 学校法人 日本体育大学 | 平成 30 年 6 月 6 日   | ①昭和大学スポーツ運動科学研究所職員によるメ<br><u>ディカルチェック、講習会の実施</u>                                                                                                     |
| 学校法人 東京農業大学 | 平成 30 年 8 月 2 日   |                                                                                                                                                      |

## [7 アスリート支援]

### 1. アスリート支援事務室の設置

本学が関わるアスリートの支援に関する業務を行うため、アスリート支援事務室を設置し、アスリート職員の支援と女子アイスホッケークラブを創部しました。

### 2. 女子アイスホッケークラブの創部

スポーツを通じて社会に貢献することを目的に女子アイスホッケークラブブルーウィングスを創部しました。当クラブは本学職員と本学以外の社会人・学生により構成され、監督、コーチ 2 名、トレーナー 1 名、選手 16 名により活動しました。10 月の横浜市長杯 兼 第 23 回全日本女子アイスホッケー選手権大会 (B) 神奈川県予選会で優勝し、11 月の関東ブロック予選会において全日本選手権大会 (B) の出場を決めました。その後、2 月に長野で開催された善光寺レディースカップで優勝し、3 月の全日本選手権大会 (B) では、初出場にしてベスト 4 という結果を出しました。

## 第2部（本学の事業）

### 1 教育・研究の充実

#### 1. 医学部・医学研究科

##### （1）教育

###### ①新カリキュラムの推進

平成30年5月、6月に医学教育分野別評価を受け、認定機関より新カリキュラムに基づいて全7期28週間のクリニカルクラークシップを含む72週間の臨床実習が行なわれていることが評価されました。令和2年度より正式導入されるPCC-OSCEのトライアルとして外部評価者を交えて、正式導入を視野に入れた問題点の洗い出しを行いました。

###### ②評価方法の変更

臨床実習の評価としてポートフォリオとルーブリック評価の他に、担当患者の電子カルテ内に学生カルテを組みこみ、教育職員が学生カルテにフィードバック、評価ができるシステムを構築しました。2年次から4年次の講義ブロックの定期試験において、MCQ方式のみでなく記述問題を一部に加えることにより知識の確かさを評価する体制を整えました。

###### ③カリキュラム改革

医学教育分野別評価で求められたコンピテンシーに基づくカリキュラム改革を行なうため、ワークショップを行い、臨床研修修了レベル、卒業時レベル、臨床実習開始時レベル、CBT受験レベルについてマイルストーンを設定しました。各講義ブロックとのカリキュラムマッピングを行ないました。カリキュラム検討委員会のワーキンググループとして、（1）臨床実習におけるクリニカルクラークシップの更なる充実・評価法の改善、（2）基礎医学における実習時間の短縮と水平統合、（3）1年次から6年次までの英語教育充実、（4）行動医学講義の体系化、（5）6年次卒業試験・集中講義のあり方をスタートさせ本年度は各グループで2回のミーティングを行いました。

###### ④講義の改善

今年度も講義に対する学生アンケートを実施し、各講義担当者にフィードバックを行うことで講義の改善を促しました。

###### ⑤定期試験の見直しと国家試験対策

試験問題の正答率と識別指数等を検証し、問題の妥当性を検証するとともに難易度を調整するよう出題者にフィードバックを行いました。また、国家試験対策として今年度も6年次の特別講義、成績不良者を対象とした合宿を行いました。

###### ⑥大学院における学修支援の充実

今年度から本格化した専門医資格の臨床研修プログラムを希望する大学院のため、学則を見直し、専門医研修に専念することを目的とした休学について、その期間の休学を認めることとしました。また、「関東がん専門医療人養成拠点」の事業においては、4大学院（東京慈恵会医科大学・星薬科大学・上智大学・昭和大学）連携がんチーム医療ワークショップを開催しました。本学からは、医学研究科のみならず、歯学・薬学研究科に在籍する大学院生も参加しました。さらに、研究倫理のための自己学修プログラムCITI Japan（eラーニング）を必修化し、教育を強化しました。

## (2) 研究

### ①研究支援体制の充実

学内の共同研究施設（電子顕微鏡室、遺伝子組換え実験室、動物実験施設、RI 共同研究室、分子分析センター、臨床医学共同研究室）の、機器の補修や新機種導入により研究体制の充実に努めました。また、平成 30 年度は科研費ブラッシュアップ委員会にて、108 名の若手研究者の研究申請のサポートを行いました。これにより、文部科学省科学研究費を始めとする公的研究費への申請件数が増加し、新規の科研費の申請件数は 513 件となりました。科研費以外の公的研究費についても、情報を公開し申請促進に努め、今年度は 1 件（AMED）の研究課題で助成を得ました。また、今年度から科研費を獲得できなかった研究者に対して科研費獲得奨励研究費を支給し研究を奨励しました。

### ②学外研究機関との連携

平成 30 年度の国内医療機関などへの学外学修・研修者は 220 名、国内留学生は 10 名でした。また、国外留学の新規申請者は 8 名で、国際学会での発表などで延べ 481 名が海外に渡航して、国内外の他大学や研究機関との交流を深めました。また、今年度も中国、インドネシア、エジプト等の国から 31 名の大学院留学生を受入れ、留学生以外にもアメリカから 2 名の研究者を招聘し、海外研究機関との交流を深めました。

## (3) 卒後教育

### ①研修環境の整備

新研修指導医を育成するため、指導医講習会を実施し、6 月、9 月の 2 回で合計 64 名が受講しました。研修のカリキュラムプランニングである目標、方略、評価を学修することで臨床研修医に対して適切な指導や支援を実行できる体制を整えました。

### ②専攻医制度の充実

本学独自の魅力あるプログラムに沿った専門研修が出来るよう、基本 19 領域診療科へ指導を行いました。また、優秀な専攻医を獲得するため、本学で研修している臨床研修医への情報提供に限らず、本学の卒業生および本学の臨床研修医採用試験を受験し、現在は他施設で臨床研修を行っている医師へ積極的に情報提供をした結果、昨年度を上回る 151 名の専攻医採用者が内定しました。

## 2. 歯学部・歯学研究科

### (1) 教育

#### ①成績管理システムの活用

作問システムが改良され、効率のよい問題入力、ブラッシュアップおよび試験冊子の作成が可能となりました。

#### ②評価制度の充実

第 4 学年の臨床実習Ⅰでは、実施状況の再評価により一部内容の見直しが行われました。第 5 学年の臨床実習Ⅱでは、保存系ユニットにおける出席管理方法に変更が加えられました。また、昨年度に引き続き医療系大学間共用試験実施評価機構の「診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験トライアル」が実施され、臨床能力の評価に活用されました。第 6 学年の臨床実習Ⅲでは iOSCA が実施され、卒業時における臨床能力の到達度評価が行われました。

### ③高度な研究者の育成

高度な人材育成を目的として、大学院3年生を対象として中間報告会を実施し、研究内容のブラッシュアップを行いました。また、大学院修了時の学位審査の申請時に CITI Japan によるeラーニングを義務付け、100%の学生が受講しました。

### ④大学院入学者募集の促進

今年度のMD プラグラムでは、新しく3名の学生が入学しました。歯学部特別奨学生で有資格者のうち、4名が大学院へ入学しました。大学院パンフレットでは、研究内容および研究者の紹介などを更新しました。入学者は27名でした。

## (2) 研究

### ①研究活動の推進

大型プロジェクト「文部科学省戦略的研究基盤形成支援事業（口腔機能維持・回復のための集学的研究開発拠点の形成）」については、平成31年3月に本学にて、研究成果報告会を開催しました。文部科学省の採択を受けて推進している「私立大学研究ブランディング事業」については、全学的取り組みで研究を推進し、研究成果報告会・一般向けの公開講座を実施し、国民の健康長寿に貢献する大学としての取り組みを進めました。更に、科学研究費補助金については、学内の支援体制を強化し、新規課題35件、継続課題59件を獲得しました。

## (3) 卒後教育

### ①教育内容の検証

平成29年度臨床研修における研修修了要件や経験すべき症例数を調査したところ、外来診療における研修医1名あたりが治療担当した一般歯科診療症例数は平均34症例であり、全研修医87名中63名（72%）が目標症例数である31症例を達成していました。

### ②多職種連携医療教育の充実

医療系他職種とのチーム医療を修得するために、全員必修で医学部附属病院歯科での口腔ケア研修を実施しました。また、全身管理を修得するために、全員必修で全身管理研修を実施しました。

### ③ICT の活用による研修支援の充実

電子ポートフォリオによる臨床参加の記録入力十分に浸透現状を踏まえ、確実に保存するために紙媒体のポートフォリオフォーマットを策定し、導入しました。結果として、学修した症例数および指導医のフィードバックが確実に記録できるようになり、研修支援に役立つようになりました。今後、このフォーマットに基づいて電子ポートフォリオに派生できるようシステムの充実を図る基盤をつくりました。

### ④臨床研修指導医の育成

平成30年12月に世田谷フォーリッジハウスにて厚生労働省および歯科医療研修振興財団との共催で歯科医師臨床研修指導歯科医講習会を開催しました。39名の新規臨床研修医指導歯科医を育成して、歯科医師臨床研修事業の振興に貢献しました。

### 3. 薬学部・薬学研究科

#### (1) 教育

##### ①新カリキュラムの適用拡大と検証

「薬学教育モデル・コアカリキュラム 平成 25 年度改訂版」(以下、「改訂コアカリ」)に基づいて作成した新カリキュラムを平成 27 年度入学生より適用しており、今年度は 2～3 年次で進めている新カリキュラムの検証を行うとともに、4 年次で新カリキュラムを実施しました。更に、平成 31 年度に実施する新たな 5 年次カリキュラムを構築しました。

4 年次における新カリキュラムとしては、平成 31 年度より実施される改訂コアカリ準拠の実務実習をみすえ、「実務実習事前学習」をはじめとする従来科目を再構築すると共に、「個別化医療」、「放射性医薬品の利用と管理」、「輸液と栄養」といった新規科目を開講しました。また、「薬となる化合物の構造と性質」、「分子・細胞から生理・病態へ」といった薬学の基礎領域と応用領域を融合した新規科目も開講しました。さらに、在宅チーム医療教育に関連しては、演習科目「チーム医療実践の基盤チュートリアル」の中で「在宅医療シミュレーション演習」を実施しました。

##### ②試験制度の改革と検証

学力を担保できる進級・卒業基準とするために、昨年度までに引き続き、定期試験および卒業試験の検証と改善に取り組むと共に、2・3 年次の進級試験、5 年次の進級試験に相当する臨床総合試験において出題方針を大幅に改善しました。また、4 年次では新たに進級試験を実施しました。

##### ③大学院教育の改善・充実

大学院生の科目履修と研究について、現状と要望を把握し改善するために、全学生を対象に授業アンケートを実施しました。アンケート内容およびその結果については、集計して大学院運営委員会にて検討を行い、授業担当者へのフィードバックを行いました。さらに、授業アンケートの評価指標の見直しを行い、より学生が評価しやすく、結果が明瞭に得られるように修正を行いました。

##### ④大学院進学推進

大学院入学者を募るため、薬学部 2 年～6 年次の春期オリエンテーションにて、大学院進学の意義や教育内容、学位取得後のプランなどについて説明を行いました。また、秋期父兄会においても薬学部在籍学生の保護者に対して本学大学院について説明と進学案内を行いました。さらに大学院進学を目指す学生のために、薬学部特別奨学生制度を拡充しました。特に平成 31 年度から開始する臨床薬剤師研修制度と大学院在籍を同時進行できるよう、制度を部分的に改正しました。合わせて在籍期間中に無給となる大学院（一般）の特別奨学生には、大学院特別奨学金を給付することとしました。

#### (2) 研究

##### ①学部学生の研究活動推進

4 年次前期の「薬学研究入門」、5 年次 11 月～6 年次 7 月の「薬学研究」を合わせて約 1 年間の研究活動を行うカリキュラムが発表会の開催も含めて円滑に実施できました。6 年次生が 4 年次生を指導する屋根瓦式教育の導入で継続的な研究体制が機能してきました。

##### ②研究ブランディング事業の推進

昨年度の研究成果報告会における外部委員からの評価を受けて、平成 30 年 8 月に班会議

を行い研究活動の方向を確認し、事業を進めました。平成31年2月の研究成果報告会では、外部評価委員から前年度より大きく進歩しているとの評価を頂きました。

#### ③科学研究費採択率の向上

今年度の科研費新規採択件数は12件、継続課題を合わせた助成総額では2,720万円と増加しました。

#### ④学会における活動推進

今年度の薬学部からの学会総会・例会での研究発表28演題、昭和学会雑誌への投稿5編、学会後援セミナーは8件であり、研究発表の数が増加しました。

### (3) 卒後教育

#### ①薬剤師生涯教育の改善・充実

薬学部生涯研修認定制度に基づく研修として、参加型を含む多様な内容の卒後研修を企画し、今年度は17回の研修会を開催し、受講者数は249名、総計352単位を付与しました。また、生涯研修認定制度に基づいて大学院特論講義(8科目)を聴講した受講生は20名で計73単位を付与しました。また、今年度は本研修制度開始後初となる昭和大学薬学部認定薬剤師を3名輩出しました。

## 4. 保健医療学部・保健医療学研究科

### (1) 教育

#### ①専門教育の充実

平成28年度入学生から適用した教育課程の骨子として定めた「専門科目の教育目標を今後の医療現場で求められる急性期医療および地域在宅医療に対応できる専門職教育の充実」の実現に向け、今年度も種々取り組みました。看護学科では現在の医療・看護に即した教育内容とするため、領域別教育体制を再編し、学科全体での教育体制の構築を推進しました。理学療法学科・作業療法学科では、それぞれの附属病院の特徴を活かした、急性期病院におけるベッドサイドリハビリ並びに藤が丘リハビリテーション病院における回復期リハビリの実習に関してカリキュラムの充実を図りました。3学科共通の取り組みとしては、「臨床教員」の増員を推進し、すべての臨床実習を昭和大学附属病院で実施しました。更に、臨床教員が学部連携教育に参加する体制を充実させるため、臨床教員に対する教育体制の充実や学部教員との相互交流を推進するためのワークショップを行いました。学内での実技演習に関しては、より臨床現場に近い設備・環境の確保・提供に向け、スキルスラボ等の整備を更に推進しました。

#### ②カリキュラムの改革

今年度から、学年毎の教育目標への到達度を評価するために、進級試験・卒業試験を導入しました。また、より適切な教育評価を行うために、保健医療学教育学教育職員を配置するとともに、試験委員会、プログラム評価委員会の新設、教育推進室専用スペースの整備および試験問題管理システムを導入し、次年度からのコース・ユニット制への準備、各学年における教育目標・学年コースの設定、総括的評価・形成的評価の方法と定期試験のあり方に関して検討しました。更に、3学科において「指定規則」改正を見据えた準備を進めるとともに、看護学科においては、看護学教育モデル・コア・カリキュラムの導入および分野別認証評価受審の準備を開始しました。また、文部科学省プロジェクトとして推進してきた「在宅

チーム医療」プログラムが完成年次を迎えるため、実施成果が次年度以降へ適切に反映できる体制を他学部と連携し構築しました。

### ③大学間連携の推進

作業療法学科3年生と包括連携協定校である多摩美術大学との連携教育を行いました。また神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定参加校等との交流促進に向けて準備を推進しました。

### ④学生指導の充実

学生指導について、修学支援における個別指導体制並びに保護者との共同体制を更に推進し、成績不良者の学力の向上、就職並びに国家試験の支援体制の充実を図りました。また生活支援においては、第2学年で3学科混成の指導担任制度とし、学生相互の学科間の交流を促進しました。

### ⑤広報活動の充実

地域貢献や優秀な入学者の確保を目的として、公開講座の充実や地域住民に対する“いきいき健康教室”の開催、近隣教育施設との交流、緑風祭等における施設の開放・PR、オープンキャンパスにおける附属病院の活用（オープンキャンパス in 昭和大学附属病院）を推進し、広報活動の充実を図りました。また神奈川県と協力した地域貢献事業を促進するため、次年度実施に向け準備を行いました。

### ⑥大学院教育の充実

大学院博士前期課程の開講科目の検証・評価の内容を踏まえて、担当者にシラバスや教授方法の充実を周知徹底し、その評価を開始する準備を整えました。専門看護師コースでは、臨床現場でクリニカルエクシションを持って高度な看護実践を行えるように臨床をベースとして、高度実践看護師の教育を継続して実践しました。

また、入学試験の実施時期の見直しを行い、今年度より春入学試験の時期を遅くすることとしました。多職種職員の入学支援を強化した結果、看護師、理学療法士、作業療法士に加えて、臨床検査技師や臨床工学技士を受入れることができるようになりました。「臨床教員」を希望する医療職者の入学者も増え、診療・教育者の育成体制の充実に努めました。博士後期課程においては、博士前期課程との関連を考慮し領域見直しの検討を開始しました。

### ⑦教育環境の充実

教育設備機器の計画的な更新並びに教育効果の向上に資するシステムの導入整備を推進し、AV 装置の更新、スキルスラボの拡大整備に向けた準備等、良好な教育環境の創出・提供に努めました。

## (2) 研究

### ①研究活動の推進

今年度から第2回学部内共同研究を開始しました。研究テーマとして、「看護師・理学療法士・作業療法士を目指す学生に必要なコミュニケーション・スキルと到達度」「医療人における放射線教育のあり方」「3学科連携による急性期臨床実習のリスクマネジメントに対応できるシミュレーション演習プログラムの開発」「生活習慣病関連疾患の発症後の身体機能と栄養状態と推移に関する研究」の4つを設定し取り組みました。また、学術雑誌への論文投稿並びに昭和大学リポジトリへの登録による研究成果の公表を促進し、研究発表の質の向上を図りました。更に、競争的資金の増額に向け効果的なセミナー開催の推進、科学研究

費申請時におけるブラッシュアップの強化・充実を図りました。また、包括連携協定校である洗足学園音楽大学とのヴィオラ奏者の手の動作解析について研究面での相互交流、昭和大学スポーツ運動科学研究所との共同研究を実施するとともに、私立大学研究ブランディング事業へ参画し、研究成果を公表しました。

### (3) 卒後教育

#### ①キャリアの教育の推進

卒業生を対象にした卒後教育セミナーとして3学科と同窓会の共同開催によるセミナーを学科毎に開催しました。また、看護学科では、看護キャリア開発・研究センターとの協働をより強化し、看護師のキャリア形成教育の充実を図りました。

## 5. 富士吉田教育部

### (1) 教育

#### ①初年次教育充実に向けた入寮期間の見直し

平成29年度は1月に授業を行わず、定期試験のみを行い17日に完全退寮としました。平成30年度では2年次以降の専門科目修得に必要な学修能力向上のため、2週間に延長して後期専門科目について専門課程教職員と連携し、演習を交えた授業を実施しました。後期定期試験は21～23日、26, 28, 29日の6日間で実施し、1月29日に完全退寮としました。この入寮期間の見直しにより、後期科目の習熟度の向上を促進しました。

#### ②初年次教育の見直し

前期に一般教養・基礎科目、後期に専門基礎科目・専門科目の比率を高める科目配置とし、また専門科目は1月にも演習を含む授業を行い、後期コマ数を15～19コマとして習熟度の向上を図りました。具体的には、医学部では前期に生物系科目として「遺伝子と生命活動」、「生物の進化と多様性」を新設し、後期には専門科目として「生理学」、「形態学概論Ⅱ」を実施しました。歯学部では前期に生物系科目として「生物の進化と多様性」を配置し、後期に専門科目として「歯の解剖学」を新設しました。薬学部では「物理の基礎」を前期科目とするとともに、生物系専門科目として「人体の成り立ちと機能(総論)」を前期に新設し、後期の専門科目は演習を加えて講義回数を16～19コマとしました。保健医療学部では、これまで後期に実施されていた「統計の基礎」等の基礎科目を前期科目とし、後期はより専門性の高い科目配置となるよう適正化を行いました。また、教養選択科目を充実する目的で、包括協定締結校である洗足学園音楽大学の講師による「療法的な音楽活動」を前期に新設しました。

### (2) 研究

#### ①研究組織の再編成と共同研究

教育職員個々の研究および共同研究を推進する目的で、今年度より5班と1室(リベラルアーツ班、サイエンス班、ウェルネス班、言語科学班、情報科学班、教育推進室)に再編成されました。共同研究としては、平成28年度から実施している「インターネットを活用したセクシュアル・マイノリティに関する学生の意識調査」、また、昨年度から実施している「分子磁石マーカーをつけた分子カプセル薬剤の体内輸送システムに関する研究」および「医学英語教育のための Can-do list およびポートフォリオの作成とその効果の検証」に

ついて継続するとともに、「呼吸・循環応答とうつ・不安・不眠の程度とモノアミン神経関連遺伝子の関連」を新規研究として開始しました。

#### ②学会例会の開催

今年度は3回の昭和大学学士会講演セミナーと第353回昭和大学学士会例会（アーツ・アンド・サイエンス部会主催）を開催し、上記の研究成果発表を中心とした内容の講演を行ったことで、研究活動の活性化を推進しました。

### （3）その他

#### ①学生の教育・生活環境の充実

学生生活環境等の整備や学生の課外活動の支援等を担当する「富士吉田校舎学生教育環境設備整備・課外活動支援室」が平成30年4月に発足し、自然教育園や馬場の整備の充実が行われました。これにより、「植物と健康の科学」や「漢方薬になる動植物」等で自然教育園が有効に活用されるとともに、馬術部を中心とした課外活動の活性化が推進されました。

## 6. 医学部附属看護専門学校

### （1）教育

#### ①カリキュラムの充実

在宅看護・老年看護領域においては、領域担当教員の再編成や授業見学の実施等から、新たな教員の視点からの授業内容・方法の見直しを行いました。

#### ②3ポリシーの策定

2020年度のシラバスへの掲載・実施を目指して、教育理念・教育目標・コンピテンシーにおいて、内容の精査・決定後、教育目標の各レベルにおいての達成課題の明文化を行いました。

#### ③学部連携教育の推進

約半数の教育職員が富士吉田で開催されたPBLファシリテーター養成ワークショップへ参加し、ファシリテーター技術の修得に向けての取り組みを行いました。

## 7. 助産学専攻科

### （1）教育

#### ①教育の充実

専攻科生1年間の学生の学習実態と評価を明確にし、検証しました。検証結果を基に、臨床教員および実習指導者を対象として、学内教員とともに教育学習会を2回開催しました。より現場に即した実践能力の向上を目標とし、学生にポートフォリオ学習を推奨しながら、基礎から応用までの思考過程の整理と目標管理、自学自習によって問題解決を行っていくシミュレーション学習を多く取り入れました。更に、自己の内省する習慣づけを行い、課題を明確にするための学習方法を継続し実践しました。また、助産学同窓会を発足させ、学生と修了生とのつながりを大切にし、学生が自己のロールモデルを見つけ、専門職としてのアイデンティティを構築することの促進に努めました。

## (2) 研究

### ①研究活動の活性化

平成 28 年度から附属 4 病院の助産師と産科医師を対象に「助産師と産科医師の信頼・協働尺度の開発」に関する研究を開始し、平成 31 年 2 月には神奈川母性衛生学会誌に原著論文として掲載されました。その後、産科医師を対象としてインタビュー調査を継続して実施しています。教育職員と臨床教員、更に産科医師、師長、スタッフとともに、今後の助産師教育や周産期医療現場にエビデンスとして提言できる内容として、継続的に共同研究を推進し、更なる実践能力の向上に努めました。

## (3) その他

### ①昭和大学認定助産師等の認定取得に係るサポート体制の強化

隔月で開催されている統括看護部助産師会議（統括看護部長、附属 4 病院の産科に関わる看護師長、看護次長、専攻科教務責任者）によって、附属 4 病院のスタッフより昭和大学認定助産師およびアドバンス助産師の取得に向けた研修会を計画・運営し、評価を行いました。また、共に学ぶ姿勢と教育的関わりを実践的に学ぶための機会として、指導者および臨床教員のための教育者向けの学習会を開催しました。

## 8. 研究所・共同施設

### (1) 先端がん治療研究所

#### ①研究活動

私立大学研究ブランディング事業「医系総合大学の実績を基盤とした生体内レドックス制御機構解明と臨床応用」において研究活動を行い、3 月に開催された研究成果報告会・シンポジウムでは、研究成果を発表（タイトル：「ROS（活性酸素種）産生調節を利用した抗がん剤耐性克服法の開発について」）しました。EGFR チロシンキナーゼ阻害剤耐性のメカニズムの解明に関する研究「KRAS and EGFR Amplifications Mediate Resistance to Rociletinib and Osimertinib in Acquired Afatinib-Resistant NSCLC Harboring Exon 19 Deletion/T790M in EGFR」が Molecular Cancer Therapeutics に掲載されました。

#### ②研究助成申請活動

パイプラインの新規抗がん剤を用いた前臨床研究を、企業に提案し採択されました。新規抗体薬物複合体薬（ADC）の乳がん、肺がん細胞における有効性と効果を検討する前臨床研究を企業より受託し開始しました。

臨床検体（血漿、腫瘍組織）を用いたがんに関する橋渡し研究が 2 つの企業に採択されました。国立がん研究センターおよび企業と共同研究で、乳腺の両性腫瘍患者における末梢血の miRNA の発現を調べ検診に役立てる研究や、HER2 陽性乳がん組織の miRNA 測定により術前化学療法の効果を予測する研究を受託しています。

さらに、医師主導臨床試験として 5 つの提案を製薬会社に行い 2 つが採択され、受託契約を進めています。

公的な競争的資金では 4 つを申請し、1 つが採択されました。「Insight TNBCtype による subtype/分子標的治療薬の開発」、「次世代医薬品としての新規抗体薬物複合体 ―難治性腫瘍の克服とバイオマーカー探索―」、「肺がん細胞における EGFR チロシンキナーゼ阻害剤の耐性メカニズムに関する研究」を文科省科研、「生殖細胞系列 BRCA 変異陽性転移性乳癌にお

ける オラパリブの耐性機序解明のための探索的橋渡し研究」を AMED に申請しました。

### ③教育活動

大学院医学研究科外科学系外科学（乳腺外科学分野）2 年生 1 名、大学院薬学研究科薬学専攻医薬品評価薬学 4 年生 1 名の学位取得のための学位研究のサポートをしました。このうち後者は年度内に学位を取得しました。大学院生に対する腫瘍学・分子生物学教育の一環、またがんプロフェッショナル事業と共催で学外から 1 名講師（慶応大学医学部薬剤学講座、今村知世准教授「薬物動態規定因子に基づく抗がん薬の個別化投与」）を招きセミナーを開催しました。大学院医学研究科の共通科目として「分子生命科学的解析法」を担当し、毎月 20 名以上の参加者を受入れました。2 名の教育職員が the 7th Clinical Research Skill Advancement Workshop に講師として参加しました。参加者の letter of intent 作成と臨床研究立案を援助しています。

## （２）臨床薬理研究所

### ①企業主導臨床試験

新たに BE 試験（生物学的同等性試験）3 件、Ⅱ相試験 1 件、Ⅱ相/Ⅲ相試験 1 件、Ⅲ相試験 1 件の計 6 件を受託しました。実施件数としては、昨年度から継続している試験 2 件を含め 8 件の試験を実施しました。また、昨年度実施した BE 試験に対する GCP 実地調査が規制当局より行われ、指摘事項なく終了しました。

### ②臨床研究

本研究所全体で臨床研究を計 31 件実施しました。そのうち本研究所と医学部薬理学講座臨床薬理学部門とが携わる共同研究を 5 件、本研究所寄付講座である臨床免疫腫瘍学講座が携わる共同研究を 14 件、臨床腫瘍診断学講座が携わる共同研究を 8 件実施しました。各研究の実施にあたり、医学部（内科学講座（消化器内科学部門、腫瘍内科学部門）、外科学講座（消化器一般外科学部門）、泌尿器科学講座、薬理学講座（医科薬理学部門）、小児科学講座）や薬学部（基礎医療薬学講座（薬剤学部門）、社会健康薬学講座（社会薬学部門）、病院薬剤学講座）および本学以外の施設との協力のもと実施しました。当該研究の成果は、日本臨床薬理学会等にて幅広く周知しました。

### ③人材育成

研究者および学生の人材育成に関しては、早期体験実習として医学部 1 年生を 120 名受入れ、本研究所の紹介および臨床研究（治験を含む）に関する教育を行いました。また学部連携による実務実習として 99 名の歯学部学生を教育しました。教育を含む施設見学として本学の学生および職員 21 名を受入れました。

臨床試験コーディネーター(CRC)の人材育成に関しては、8 病院臨床試験支援センター・支援室スタッフが参集する 8 病院治験支援合同会議にて、被験者の組入れ例数の増加および逸脱等の防止を図るための教育を行い情報の共有をしました。

### ④渉外活動

8 病院全体の新規試験受託促進を図るため、製薬企業 3 社へ訪問し、6 社を本研究所の訪問受入れをしました。また、日本医師会が主催する治験ネットワークフォーラムへの出展、治験支援セミナーの開催等を行い、8 病院臨床試験ネットワーク等の本学の取り組みについて積極的に PR しました。

#### ⑤臨床研究の体制整備

8病院治験支援部門合同会議を開催し、臨床研究法への対応として経過措置対象の臨床研究の調査や同意説明文書における利益相反に関する記載の統一、標準業務手順書の改訂等を行い、本学で行う臨床研究の信頼性を確保するための体制を整備しました。

また、医学研究へのCRC支援費用の取り決め等を行い、附属病院間での業務の標準化を推進するとともに、8病院間での相互支援として4名のCRCを各病院間で異動し、より効率的な試験実施が可能な体制を整備しました。

その他の活動として、本学研究者を対象とした倫理講習会（臨床研究に関する講習会）を計6回開催、教職員向けの情報誌「治験NEWS」を8病院持ち回りにて計6回発行しました。

### （３）発達障害医療研究所

#### ①事業の内容

当研究所は、平成26年4月に学校法人の附置研究所として設置され、同時に文部科学省の共同利用・共同研究の「発達障害研究拠点」としての認定を受けました。この事業の一環として、成人の自閉症スペクトラム障害に関する文理融合型の共同研究を公募し、10研究課題を採択しました。また、発達障害に係る講演会を定例として毎月開催し、多様な分野の研究者を国内・国外から招聘し、専門的な講演や情報交換を行いました。共同研究拠点も5年目となり、公募研究と講演会による相互効果によって外部の研究者との共同研究を推進する契機となりました。

#### ②ショートケアプログラムの開発

プログラムの開発では、思春期にも研究対象を拡大し、大学生の社会的自立を促進するため、『発達障害を有する大学生（中退者、引きこもりを含む）へのショートケアプログラム開発と包括的支援システムの構築』を推進しました。

これに関連して、第40回全国大学メンタルヘルス学会にて当研究所の取り組みを発表し、大学の保健管理センターに勤務する専門家との連携を強化しました。

#### ③教育活動

これまで1回から5回まで当研究所で開催していた「成人発達障害支援研究会」を、今年度から学会に発展させ、平成30年10月に「第6回成人発達障害支援学会」を北海道札幌市にて開催しました。平成30年度の診療報酬改定において、当研究所のASDプログラムがショートケア加算の対象となり、全国化がさらに促進されることとなりました。

#### ④その他の活動

その他、地域社会に開かれた研究所としての役割として、当事者と家族、地域住民を対象とする市民公開講座を平成31年2月に烏山区民会館において開催しました。第1部では当研究所から3つのテーマについての講演があり、第2部では国立成育医療研究センター理事長を迎え講演を行いました。平成30年12月に成立した「成育医療等基本法」の話題が多くに関心と呼び、妊娠期から成人期に至る切れ目のない医療、福祉の提供という点で当研究所の取り組みと重なる部分が議論の焦点となりました。100名程度の参加者があり、公開ディスカッションでは活発な質疑応答が行われました。

#### (4) スポーツ運動科学研究所

##### ①アスリート支援

医科・歯科・理学療法・栄養部門の合同メディカルチェックによりアスリートの総合的な医療的問題点のデータを蓄積しスポーツ外傷・障害の予防に寄与するとともに、パフォーマンス向上に向けた研究を遂行しました。

昨年度より継続して行っているプロ野球の千葉ロッテマリーンズ球団・大東建託未来のアスリート支援プロジェクト・日本体育大学ラグビー部等スポーツ健康外来でのメディカルチェック、デンタルチェック、栄養管理等今年度も継続して行いました。さらに、平成30年に発足した昭和大学女子アイスホッケークラブ ブルーウィンズの選手に関わるメディカルチェック、健康管理、マウスガードの作成および研究を行うことによって、チームをサポートすることを検討しました。

##### ②東京オリンピック・パラリンピックとの関わり

これまでに執り行っている障害者陸上、バドミントン、射撃、車いすバスケットボール競技のパラリンピック強化指定選手の健康管理を、主に内科的な観点から行いました。また、2年後の東京オリンピックに向けて、医療の分野を中心として様々なプロジェクトに関わり、平成30年度は5件の申請を行いました。

##### ③学術研究

学術研究発表会をこれまでと同様に年2回開催し、学内関係者のみならず学外の共同研究者にも積極的に発表をしました。

包括連携協定校である日本体育大学においては、動作解析やラグビー部選手の健康管理等継続して研究を行いました。日本体育大学メディカルチェックの際には、スポーツ運動科学に興味ある学生に参加を促し、現在行っている活動に帯同してもらう等、現場での体験ができるような機会を設けました。

また、同じく包括連携協定校である洗足学園音楽大学においては、オーボエの楽器演奏者の体調管理、動作解析、ピアノ・バレエのケガの予防治療等の研究を促進しました。

##### ④地域支援

地域健康増進活動支援では、横浜市青葉区スポーツセンターと連携し、心臓リハビリ指導と市民教室を年に3回開催しました。平成30年10月に9回目を青葉区スポーツセンターで開催し、健康講和や実演等を行うことで地域に貢献しました。また、平成28年から始まり平成30年9月で3回目となるマウスガード作成の講習会を青葉区歯科医師会と協同で実施し、マウスガード作成の技術を広め、重要性に関しての啓発活動を行いました。

#### (5) RI 共同研究室

##### ①業務従事者数

放射線業務従事者は、医学部、歯学部、薬学部に所属する研究者13名、管理者4名の計17名（うち3名は学外研究）でした。

##### ②RIに係る管理

放射性同位元素の使用・保管量の確認、放射線業務従事者の健康診断、教育・訓練、個人被ばく線量のモニタリング、作業環境における放射性同位元素のモニタリングを行いました。

##### ③施設管理

定期的に測定器および線量計の校正を行い、安全な放射線を用いた研究支援に努めました。

## (6) 遺伝子組換え実験室

### ①施設および備品の整備

自動細胞培養観察装置のバッテリー一部の更新、液体窒素生成機のデジタル制御へのアップグレード、胚操作用の実体顕微鏡の更新、滅菌消毒用の過酸化水素発生装置の導入を実施しました。

### ②遺伝子組換え実験の安全管理

動物実験委員会・バイオセーフティ委員会共催の動物実験実施者の研修会（6月）および説明会（12月）において、当該実験者に対しカルタヘナ法および本学の関連規程について解説・周知を行いました。平成21年に発行した「昭和大学における動物実験、遺伝子組換え実験、および病原体等使用等に関連する規程集」の改訂版を作成し配布しました。

### ③バイオセーフティ委員会の支援

遺伝子組換え実験の計画書の申請窓口、遺伝子組換え体の譲渡等の把握、病原体等所持・管理状況の把握、およびバイオセーフティ実験室の把握等を行いました。

### ④利用状況と研究支援

今年度の利用登録者数は医学部5教室36名、歯学部5教室18名、薬学部5教室24名、研究所2教室9名の計16研究室87名でした。また、研究支援としてマウス精子凍結6件、体外受精または凍結胚による作出7件を行いました。

## (7) 電子顕微鏡室

### ①平成30年度施設利用

電顕室使用登録講座および登録者数は、医学部11講座47名、歯学部7講座45名、薬学部3講座8名、その他1名、他大学の共同研究者3名、合計21講座104名であります。また、総機器使用率は240日/年と本施設は学内外、学部間を越えて多数の研究者に利用されております。

### ②施設内機器の性能保持

透過電顕/日立H-7600型、表面分析装置/島津EPMA-1610型装置の年間保守契約をそれぞれ締結し、利便性の向上に努めました。その他、走査電顕/日立-S4700型と日立-SU100型の保守点検契約、共焦点レーザー顕微鏡NikonA1につきましては都度修理による安定的稼働に努めています。

### ③共同研究

今年度、学内では3学部11講座26名と、他施設では東北大学、東京大学、東京理科大学、北里大学、東海大学、久留米大学、藤田医科大学、自治医科大学、金沢大学、東京薬科大学、国立モンゴル健康大学等と共同研究を進めました。

### ④教育

理科支援の一環とし、昭和大学職員子弟を対象とした電子顕微鏡サマースクールを開催し、24名（父兄参加含む）の参加がありました。

## (8) 動物実験施設

### ①施設および備品の整備

平成30年度からの飼育機材等の更新計画（4ヶ年計画）および、ラミナーフローラックのHEPAフィルター交換計画（3ヶ年計画）を実施しました。また、無菌マウス飼育用のビ

ニールアイソレーター装置一式を設置しました。

#### ②教育訓練

新規動物実験実施者を対象とした研修会（96 名参加）および既登録の動物実験実施者を対象とした説明会（190 名参加）を実施しました。平成 21 年に発行した「昭和大学における動物実験、遺伝子組換え実験、および病原体等使用等に関連する規程集」の改訂版を作成し配布しました。

#### ③利用状況

動物実験施設の利用登録者数は医学部 18 教室 108 名、歯学部 9 教室 80 名、薬学部 10 教室 47 名、その他 4 教室 35 名の 計 41 研究室 270 名でした。

### 9) 分子分析センター

#### ①施設および備品の整備

飛行時間型質量分析計 AccuTOF 4G LC-plus 型並びに AccuTOF GCX 型に関し、性能維持のための点検整備を実施しました。また、核磁気共鳴装置 ECA500 型並びに附属する液体窒素自動供給装置 NS200 型に関しても同様の点検整備を実施しました。

#### ②利用状況

薬学部、医学部並びに富士吉田教育部に属する約 30 名の教育職員・大学院生・学生に対し、質量分析、核磁気共鳴測定、元素分析等の依頼測定や核磁気共鳴スペクトル自己測定補助を実施しました。測定対象試料は、天然および合成抗酸化物質や核酸誘導体等多岐にわたっており、測定試料数は質量分析が約 250 件、核磁気共鳴測定が約 1800 件、元素分析が 20 件でした。

#### ③利用者への情報提供

核磁気共鳴スペクトルの自己測定を希望する学生 10 名に対する利用資格テスト並びに利用者講習会を実施しました。

### (10) 臨床医学共同研究室

#### ①施設および備品の整備

長期間稼動していなかった質量分析装置を再稼動しました。また、ビーズ破砕機、加熱冷却ミキサーを新たに設置しました。大型機器や使用しなくなった試薬を整理し、より研究室を有効的に使用できるよう整備しました。

#### ②機器の説明会の実施

昨年度末に設置したデジタル PCR のセミナーと使用説明会、マルチモードマイクロプレートリーダーの使用説明会を開きました。再稼動した質量分析装置の使用説明会を開催しました。

#### ③利用状況

今年度の研究室の利用者は主に医学部臨床系講座を中心に 23 講座・部門、73 名でした。

## 2 学生・卒業生支援

### 1. 奨学金

学校法人昭和大学奨学金（学部生対象・無利子貸与）は、60 名が採用されました。学部卒業後、本学大学院へ進学する学生への昭和大学医学部特別奨学金（給付）・昭和大学歯学部特別奨学金（給付）・昭和大学薬学部特別奨学金（給付）は、それぞれ医学部 38 名（5 年生 17 名、6 年生 21 名）、歯学部 12 名（5 年生 9 名、6 年生 3 名）、薬学部 9 名（5 年生 5 名、6 年生 4 名）に給付し、将来、本学の発展に貢献する優秀な学生への経済的な支援を行いました。

また、昭和大学大学院奨学金（大学院生対象・給付）は、170 名に給付しました。このうち、昭和大学特別奨学金受給者の大学院への進学学生数は、医学研究科 9 名、歯学研究科 6 名、薬学研究科 5 名でした。

昭和大学被災者就学支援高須奨学金は 1 名に給付しました。日本学生支援機構奨学金は、学部生と大学院生を合わせて採用者は 131 名となり、基準を満たす学生は全員採用されました。昨年度からの継続も含めると、利用者は無利子奨学金と有利子奨学金を合わせて延べ 628 名になりました。

### 2. キャリア支援

履歴書の書き方、面接対策や学部ごとの就職活動の流れ等をまとめた『キャリアハンドブック』を全学部（医歯薬学部 5 年、保健医療学部 3 年）に配布しました。薬学部生への支援では、志望業種により就職活動のスケジュールが異なることから、今年度より合同企業研究会を 2 回に分けて実施しました。また医学部 3 年生向けのマナー講座、歯学部生を対象として卒業生を招いた進路相談会、保健医療学部ではマナー講座、履歴書の書き方講座や合同企業研究会を開催しました。

さらに、医学部 6 年生や歯学部 6 年生の研修医マッチングに対する添削指導、薬学部 6 年、保健医療学部 4 年に対する面接指導等個人に対する支援も積極的に行いました。その結果、今年度の利用者（延べ人数）は昨年度の 1155 名から 1569 名に増加しました。

### 3. 健康管理

学生の定期健康診断における結果票の配布について、今年度から 2 年生から 6 年生まで全て郵送とし、富士吉田キャンパスの 1 年生は例年通り配布することで、学生全員へ確実に健診結果報告が届けられる状況となりました。また、有所見者への再検査指導および受診指導が迅速に取れることで、学生の健康管理の向上を図りました。

毎年実施されている富士吉田キャンパスの 1 学年次面談では、良好な寮生活を継続させるためアンケートの質問事項を追加して、学生の身体状況を早期に把握できるよう面談が実施しました。

### 4. ホームカミングデー

第 11 回ホームカミングデーを 10 月に旗の台キャンパス、横浜キャンパスにおいて開催しました。

旗の台キャンパスでは卒後 50 年の医学部 36 回生、卒後 25 年の医学部 61 回生、歯学部 11 回生、薬学部 24 回生、横浜キャンパスでは卒後 15 年の医療短期大学 4 回生を招待し、記念表彰と懇親会を執り行いました。

今年度は、旗の台キャンパス 154 名、横浜キャンパス 49 名の卒業生が出席しました。

## 5. 課外活動等

第 61 回東日本医科学生総合体育大会（東医体）では、卓球部が男子団体戦優勝、馬術部が団体 3 位、バスケットボール部が女子総合 3 位入賞を果たし、総合成績は 11 位（38 校中）でした。

第 50 回全日本歯科学生総合体育大会（全歯体）では、卓球部、サッカー部がともに総合優勝を果たし、総合成績は 7 位（29 校中）でした。

薬学部諸大会では、全日本薬科学生馬術大会準優勝、全日本薬学生バスケットボール選手権大会女子部門優勝、関東薬学生水泳記録大会では、男女総合優勝を果たしました。

保健医療学部諸大会は、全日本保健医療学生馬術体育大会において準優勝、日本看護学生水泳競技大会では女子団体総合優勝を果たしました。

### 3 国際交流

#### 1. 学生の海外の大学における実習・研修

平成 30 年度は、医学部 48 名、歯学部 30 名、薬学部 20 名、保健医療学部 8 名の計 106 名が海外の教育機関や医療機関で実習・研修を行いました。本学では学生海外実習・研修に対し、1 渡航につき 10 万円以内の奨学金を支給しています。

また、各学部から 1 名ずつ計 4 名の学生が、医師や看護師とともに昭和大学マダガスカル口唇口蓋裂医療協力プロジェクトに参加し、クリニック・アヴェマリアにて研修を行いました。

大学院生については、51 名が海外の学会や医療協力等に参加しました。この内 18 名に対し、10 万円の奨学金（海外で開催される学会等に出席し筆頭演者として研究成果の発表を行う者が対象）を支給しました。

#### 【学生海外研修・実習（平成 30 年度）】

| 学部  | 学生数（年次）     | 実習・研修先                                               | 実習・研修期間 | 区分 |
|-----|-------------|------------------------------------------------------|---------|----|
| 医学部 | 2 名（6 年次）   | 台北医科大学（台湾）                                           | 19 日間   | 実習 |
|     | 1 名（5 年次）   | クリニック・アヴェマリア（マダガスカル）                                 | 18 日間   | 研修 |
|     | 7 名（3、4 年次） | ハワイ大学春期ワークショップ（米国）                                   | 5 日間    | 研修 |
|     | 1 名（5 年次）   | 医学部夏期集中医学英語研修プログラム（米国）                               | 6 日間    | 研修 |
|     | 4 名（6 年次）   | アラゴン健康科学研究所（スペイン）                                    | 26 日間   | 実習 |
|     | 6 名（2 年次）   | UCLA（米国）                                             | 40 日間   | 研修 |
|     | 1 名（6 年次）   | クィーンズメディカルセンター（米国・ハワイ）                               | 26 日間   | 実習 |
|     | 1 名（5 年次）   | St. Bernardine Medical Center（米国）                    | 25 日間   | 実習 |
|     | 1 名（6 年次）   | St. Bernardine Medical Center（米国）                    | 19 日間   | 実習 |
|     | 1 名（5 年次）   | St Vincent Hospital Melbourne（オーストラリア）               | 26 日間   | 実習 |
|     | 10 名（1 年次）  | ポートランド州立大学（米国）                                       | 26 日間   | 研修 |
|     | 1 名（5 年次）   | ウィーン医科大学（オーストリア）                                     | 21 日間   | 実習 |
|     | 4 名（6 年次）   | ウィーン医科大学（オーストリア）                                     | 26 日間   | 実習 |
|     | 1 名（6 年次）   | ハワイ大学（米国）                                            | 26 日間   | 実習 |
|     | 1 名（5 年次）   | ハワイ大学（米国）                                            | 24 日間   | 実習 |
|     | 1 名（1 年次）   | Global Citizenship Camp（タイ）                          | 7 日間    | 研修 |
|     | 1 名（3 年次）   | Exploring Health Care Program（米国）                    | 13 日間   | 研修 |
|     | 2 名（6 年次）   | Children's National Medical Center, Mayo Clinic（米国）  | 26 日間   | 実習 |
|     | 2 名（5 年次）   | Agaplesion Ev. Bathildiskrankerhaus Bad Pyrmont（ドイツ） |         | 実習 |
|     |             |                                                      |         |    |
| 歯学部 | 4 名（6 年次）   | 南カリフォルニア大学（米国）                                       | 13 日間   | 実習 |
|     | 2 名（6 年次）   | 慶熙大学（韓国）                                             | 19 日間   | 実習 |
|     | 3 名（6 年次）   | ブリティッシュコロンビア大学（カナダ）                                  | 12 日間   | 実習 |

|        |             |                              |      |    |
|--------|-------------|------------------------------|------|----|
|        | 2名 (6年次)    | 台北医科大学 (台湾)                  | 12日間 | 実習 |
|        | 1名 (6年次)    | トリサクティ大学 (インドネシア)            | 8日間  | 実習 |
|        | 1名 (3年次)    | UCLA (米国)                    | 40日間 | 研修 |
|        | 8名 (1年次)    | ポートランド州立大学 (米国)              | 26日間 | 研修 |
|        | 5名 (3年、4年次) | APDSA (マレーシア)                | 5日間  | 研修 |
|        | 1名 (5年次)    | クリニック・アヴェマリア (マダガスカル)        | 18日間 | 研修 |
|        | 3名 (2年次)    | ポートランド州立大学 (米国)              | 16日間 | 研修 |
| 薬学部    | 1名 (1年次)    | Global Citizenship Camp (タイ) | 7日間  | 研修 |
|        | 9名 (1年次)    | ポートランド州立大学 (米国)              | 26日間 | 研修 |
|        | 6名 (1、4年次)  | ポートランド州立大学 (米国)              | 16日間 | 研修 |
|        | 1名 (5年次)    | オルバニー薬科大学 (米国)               | 33日間 | 実習 |
|        | 1名 (5年次)    | クリニック・アヴェマリア (マダガスカル)        | 18日間 | 実習 |
|        | 2名 (5年次)    | マハサラカム大学 (タイ)                |      |    |
| 保健医療学部 | 4名 (1年次)    | ポートランド州立大学 (米国)              | 26日間 | 研修 |
|        | 3名 (1、2年次)  | ポートランド州立大学 (米国)              | 16日間 | 研修 |
|        | 1名 (3年次)    | クリニック・アヴェマリア (マダガスカル)        | 18日間 | 研修 |
| 計      | 106名        |                              |      |    |

【年度別大学院海外渡航状況】

(単位：人)

| 年度 \ 学部等 | 医学部 | 歯学部 | 薬学部 | 保健医療学部 | 合 計 |
|----------|-----|-----|-----|--------|-----|
| 平成26年度   | 21  | 13  | 19  | 6      | 59  |
| 平成27年度   | 37  | 17  | 24  | 7      | 85  |
| 平成28年度   | 41  | 12  | 32  | 13     | 98  |
| 平成29年度   | 52  | 19  | 16  | 12     | 99  |
| 平成30年度   | 48  | 30  | 20  | 8      | 106 |

【渡航国別大学院生海外渡航状況】

| 国名     | 件数 | 国名       | 件数 |
|--------|----|----------|----|
| アメリカ   | 16 | 台湾       | 2  |
| アルゼンチン | 1  | 韓国       | 1  |
| イギリス   | 5  | オーストリア   | 5  |
| カナダ    | 3  | ニュージーランド | 1  |
| スペイン   | 3  | フィリピン    | 2  |
| スウェーデン | 1  | ベトナム     | 1  |
| デンマーク  | 2  | マレーシア    | 1  |
| ドイツ    | 2  | UAE      | 1  |
| 中国     | 3  | マダガスカル   | 1  |
|        |    | 合計       | 51 |

## 2. 海外の大学との交流協定の締結

平成 30 年度は医学部でタイ王国中央胸部疾患研究所（タイ）と協定を締結し、歯学部で DA・パンドゥ・メモリアル・RV 歯科大学（インド）と学部間協定を締結しました。今後も学生や研究者の相互交流を中心とした活発な国際交流を推進します。

### 【姉妹校・学部間協定校一覧】

|         | 大学名            | 国名      | 協定締結月    |
|---------|----------------|---------|----------|
| 姉妹校     | カイロ大学          | エジプト    | 平成12年11月 |
|         | ローマ大学          | イタリア    | 平成12年11月 |
|         | 慶熙大学           | 韓国      | 平成12年 5月 |
|         | ポートランド州立大学     | アメリカ    | 平成20年 7月 |
|         | 台北医科大学         | 台湾      | 平成30年 2月 |
| 医学部間協定校 | チューレン大学        | アメリカ    | 平成15年 7月 |
|         | ミネソタ大学         | アメリカ    | 平成16年11月 |
|         | ウィーン医科大学       | オーストリア  | 平成17年 9月 |
|         | ハワイ大学          | アメリカ    | 平成18年 2月 |
|         | 天津医科大学         | 中国      | 平成20年10月 |
|         | フィリピン大学        | フィリピン   | 平成21年 7月 |
|         | 台北医科大学         | 台湾      | 平成24年10月 |
|         | アンタナナリボ大学      | マダガスカル  | 平成27年11月 |
|         | UCLA（臨床実習協定）   | アメリカ    | 平成29年10月 |
|         | タイ王国中央胸部疾患研究所  | タイ      | 平成31年 3月 |
| 歯学部間協定校 | 大連医科大学         | 中国      | 平成15年12月 |
|         | 天津医科大学         | 中国      | 平成16年10月 |
|         | アデレード大学        | オーストラリア | 平成17年 3月 |
|         | 上海交通大学医学院      | 中国      | 平成17年 4月 |
|         | 南カリフォルニア大学     | アメリカ    | 平成18年 2月 |
|         | チュービンゲン大学      | ドイツ     | 平成18年 4月 |
|         | 台北医科大学         | 台湾      | 平成18年12月 |
|         | 香港大学           | 中国      | 平成19年 2月 |
|         | トロント大学         | カナダ     | 平成21年 9月 |
|         | モンゴル健康科学大学     | モンゴル    | 平成22年 3月 |
|         | ブリティッシュコロンビア大学 | カナダ     | 平成23年12月 |
|         | マハサラスワティ大学     | インドネシア  | 平成25年11月 |
|         | トリサクティ大学       | インドネシア  | 平成29年 2月 |
|         | 北京大学           | 中国      | 平成29年 5月 |
|         | チュラロンコン大学      | タイ      | 平成29年12月 |
|         | マジュンガ大学        | マダガスカル  | 平成30年 1月 |

|           |                     |        |           |
|-----------|---------------------|--------|-----------|
|           | ウィーン医科大学            | オーストリア | 平成30年 3月  |
|           | DA・パントゥ・メリアル・RV歯科大学 | インド    | 平成31年 3月  |
| 薬学部間協定校   | 嶺南大学                | 韓国     | 平成19年10月  |
|           | マハサラカム大学            | タイ     | 平成20年 8 月 |
|           | オルバニー薬科大学           | アメリカ   | 平成21年12月  |
|           | 台北医科大学              | 台湾     | 平成29年 3 月 |
| 保健医療学部協定校 | フィリピン大学             | フィリピン  | 平成21年 7 月 |

### 3. 職員の海外留学・海外渡航

平成 30 年度の海外留学について、米国、シンガポール、台湾等 6 か国へ、計 8 名の職員が赴き、学術研究に努めています。留学期間中は大学が身分と給与を保証し、帰国後は職務に復帰し後進の指導を行う予定です。

海外渡航については、750 件、46 カ国に赴き学会発表や技術指導等を行いました。

#### 【国別 海外留学状況（平成 30 年度）】

(単位：人)

| 学部等<br>国名 | 准教授 |   |   |   | 講 師 |   |   |   | 助 教 |   |   |   | 助教(員外) |   |   |   | そ<br>の<br>他 | 合<br>計 |
|-----------|-----|---|---|---|-----|---|---|---|-----|---|---|---|--------|---|---|---|-------------|--------|
|           | 医   | 歯 | 薬 | 保 | 医   | 歯 | 薬 | 保 | 医   | 歯 | 薬 | 保 | 医      | 歯 | 薬 | 保 |             |        |
| 米国        | 0   | 0 | 0 | 0 | 1   | 0 | 0 | 0 | 2   | 0 | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0 | 0           | 3      |
| シンガポール    | 0   | 0 | 0 | 0 | 0   | 0 | 0 | 0 | 1   | 0 | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0 | 0           | 1      |
| 台湾        | 0   | 0 | 0 | 0 | 1   | 0 | 0 | 0 | 0   | 0 | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0 | 0           | 1      |
| スウェーデン    | 0   | 0 | 0 | 0 | 0   | 0 | 0 | 0 | 1   | 0 | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0 | 0           | 1      |
| タイ        | 0   | 0 | 0 | 0 | 1   | 0 | 0 | 0 | 0   | 0 | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0 | 0           | 1      |
| オーストラリア   | 0   | 0 | 0 | 0 | 0   | 0 | 0 | 0 | 1   | 0 | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0 | 0           | 1      |
| 計         | 0   | 0 | 0 | 0 | 3   | 0 | 0 | 0 | 5   | 0 | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0 | 0           | 8      |

\*平成 30 年度に出発した留学者数

\*「その他」は看護師

#### 【年度別学部別留学状況】

(単位：人)

| 学部等<br>年 度 | 医学部 | 歯学部 | 薬学部 | 保健医療学部 | その他 | 計  |
|------------|-----|-----|-----|--------|-----|----|
| 平成 26 年度   | 10  | 4   | 2   | 0      | 0   | 16 |
| 平成 27 年度   | 10  | 0   | 0   | 0      | 3   | 13 |
| 平成 28 年度   | 11  | 5   | 0   | 1      | 1   | 18 |
| 平成 29 年度   | 8   | 2   | 0   | 0      | 1   | 11 |
| 平成 30 年度   | 8   | 0   | 0   | 0      | 0   | 8  |

【年度別海外渡航状況】

(単位：人)

| 年 度 \ 学部等 | 医学部 | 歯学部 | 薬学部 | 保健医療<br>学部 | 富士吉田<br>教育部 | その他 | 計   |
|-----------|-----|-----|-----|------------|-------------|-----|-----|
| 平成26年度    | 495 | 75  | 9   | 19         | 1           | 37  | 636 |
| 平成27年度    | 468 | 58  | 16  | 13         | 3           | 28  | 586 |
| 平成28年度    | 528 | 79  | 20  | 16         | 4           | 50  | 697 |
| 平成29年度    | 502 | 56  | 18  | 10         | 2           | 37  | 625 |
| 平成30年度    | 554 | 80  | 15  | 8          | 2           | 79  | 738 |

＊「その他」は共同施設、スポーツ運動科学研究所、発達障害医療研究所、臨床薬理研究所、国際交流センター等の教育職員、および、看護師、薬剤師、放射線技師、事務職員等

【目的別海外渡航状況（平成30年度）】

(単位：人)

| 学 部 等 \ 目 的         |    | 医学部 | 歯学部 | 薬学部 | 保健<br>医療<br>学部 | 富士吉<br>田<br>教育部 | その他 | 合 計 |
|---------------------|----|-----|-----|-----|----------------|-----------------|-----|-----|
| 国際会議<br>(学会・シンポジウム) | 出席 | 199 | 15  | 1   | 0              | 0               | 17  | 232 |
|                     | 発表 | 206 | 40  | 12  | 6              | 1               | 19  | 284 |
| 共同研究                |    | 2   | 0   | 0   | 0              | 0               | 0   | 2   |
| 視察(見学・訪問)           |    | 13  | 1   | 1   | 1              | 0               | 4   | 20  |
| 学会・研究の打合せ(検討)       |    | 6   | 5   | 1   | 1              | 0               | 1   | 14  |
| 講義・講演(招待演者)         |    | 36  | 8   | 0   | 0              | 0               | 3   | 47  |
| 指導(講師)・派遣・診療        |    | 79  | 3   | 1   | 0              | 1               | 14  | 98  |
| 研修・セミナー             |    | 41  | 9   | 0   | 0              | 0               | 3   | 53  |
| その他(交流プログラム)        |    | 0   | 0   | 1   | 8              | 2               | 21  | 32  |
| 合 計                 |    | 582 | 81  | 17  | 16             | 4               | 82  | 782 |

＊1回の渡航で複数の目的がある場合、それぞれ1件ずつ計上

【渡航国別海外渡航情報(平成 30 年度)】

| 国名       | 件数 | 国名       | 件数  | 国名      | 件数  |
|----------|----|----------|-----|---------|-----|
| インド      | 4  | マダガスカル   | 10  | フランス    | 16  |
| スリランカ    | 1  | オーストラリア  | 14  | スペイン    | 14  |
| ミャンマー    | 6  | ニュージーランド | 5   | ポルトガル   | 8   |
| タイ       | 23 | カナダ      | 21  | イタリア    | 18  |
| マレーシア    | 6  | 米国       | 229 | ギリシャ    | 3   |
| シンガポール   | 21 | アルゼンチン   | 4   | オーストリア  | 32  |
| インドネシア   | 4  | コロンビア    | 1   | スイス     | 9   |
| フィリピン    | 13 | フィンランド   | 13  | チェコ     | 2   |
| 韓国       | 45 | スウェーデン   | 7   | ハンガリー   | 2   |
| モンゴル     | 5  | ノルウェー    | 5   | セルビア    | 1   |
| ベトナム     | 8  | デンマーク    | 16  | ロシア     | 5   |
| 中国       | 51 | アイルランド   | 4   | スロバキア   | 1   |
| 台湾       | 39 | 英国       | 23  | ウズベキスタン | 2   |
| パレスチナ    | 1  | ベルギー     | 3   | スロベニア   | 1   |
| アラブ首長国連邦 | 4  | オランダ     | 11  |         |     |
| オマーン     | 1  | ドイツ      | 38  | 合 計     | 750 |

\*1 回の渡航で複数の国がある場合、それぞれ 1 件ずつ計上。

#### 4. 学部留学生・大学院留学生の受入れ

学部留学生・大学院留学生の受入れについて、協定校からの交換留学生や海外の医師、歯科医師および研究者が研究または研修のため本学を訪れています。今年度は28カ国から75名の留学生が各教室や附属施設で研鑽を積みました。

本学では留学生に対する経済的支援として、奨学金制度（1年を限度として月10万円を支給：今年度は20名の留学生に支給）を設けています。さらに生活基盤に対する支援策として、外国人宿舍（15号館12室、フラッグ6室）を無償貸与しています。

また、大学院研究科には、学位取得を目的とした外国籍の大学院生6名が、研究に努めています。

#### 【所属・国籍別学部・大学院留学生(平成30年度)】

(単位：人)

| 学 部<br>国 籍 | 医学部 |   | 歯学部 |   | 薬学部 |   | 保健医療学部 |   | 合計 |   |
|------------|-----|---|-----|---|-----|---|--------|---|----|---|
|            | 男   | 女 | 男   | 女 | 男   | 女 | 男      | 女 | 男  | 女 |
| インド        | 2   | 0 | 0   | 0 | 0   | 0 | 0      | 0 | 2  | 0 |
| ネパール       | 1   | 0 | 0   | 0 | 0   | 0 | 0      | 0 | 1  | 0 |
| バングラデシュ    | 0   | 1 | 2   | 0 | 0   | 0 | 0      | 0 | 2  | 1 |
| ミャンマー      | 0   | 0 | 0   | 0 | 0   | 0 | 0      | 0 | 0  | 0 |
| タイ         | 0   | 0 | 0   | 5 | 1   | 1 | 0      | 0 | 1  | 6 |
| インドネシア     | 0   | 6 | 0   | 2 | 0   | 0 | 0      | 0 | 0  | 8 |
| フィリピン      | 0   | 1 | 0   | 0 | 0   | 0 | 0      | 0 | 0  | 1 |
| マレーシア      | 0   | 1 | 0   | 0 | 0   | 0 | 0      | 0 | 0  | 1 |
| ベトナム       | 1   | 0 | 0   | 1 | 0   | 0 | 0      | 0 | 1  | 1 |
| 香港         | 0   | 0 | 0   | 0 | 0   | 0 | 0      | 0 | 0  | 0 |
| 韓国         | 1   | 0 | 0   | 0 | 0   | 0 | 0      | 0 | 1  | 0 |
| 中国         | 8   | 2 | 0   | 1 | 0   | 0 | 0      | 1 | 8  | 4 |
| 台湾         | 1   | 5 | 3   | 1 | 0   | 0 | 0      | 0 | 4  | 6 |
| 日本（※）      | 0   | 2 | 0   | 0 | 0   | 0 | 0      | 0 | 0  | 2 |
| トルコ        | 0   | 0 | 0   | 0 | 0   | 0 | 0      | 0 | 0  | 0 |
| エジプト       | 3   | 0 | 0   | 0 | 0   | 1 | 0      | 0 | 3  | 1 |
| マダガスカル     | 1   | 1 | 0   | 1 | 0   | 0 | 0      | 0 | 1  | 2 |
| カナダ        | 0   | 0 | 0   | 0 | 0   | 0 | 0      | 0 | 0  | 0 |
| 米国         | 3   | 2 | 0   | 0 | 1   | 1 | 0      | 0 | 4  | 3 |
| メキシコ       | 0   | 0 | 0   | 0 | 0   | 0 | 0      | 0 | 0  | 0 |
| ブラジル       | 1   | 1 | 0   | 0 | 0   | 0 | 0      | 0 | 1  | 1 |
| 英国         | 0   | 0 | 0   | 0 | 0   | 0 | 0      | 0 | 0  | 0 |
| ドイツ        | 0   | 1 | 0   | 0 | 0   | 0 | 0      | 0 | 0  | 1 |
| ギリシャ       | 1   | 0 | 0   | 0 | 0   | 0 | 0      | 0 | 1  | 0 |

|        |    |    |    |    |   |   |   |   |    |    |
|--------|----|----|----|----|---|---|---|---|----|----|
| オーストリア | 2  | 0  | 0  | 0  | 0 | 0 | 0 | 0 | 2  | 0  |
| イタリア   | 0  | 1  | 0  | 0  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  | 1  |
| エクアドル  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  | 1  |
| スペイン   | 2  | 0  | 0  | 0  | 0 | 0 | 0 | 0 | 2  | 0  |
| ポルトガル  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  | 1  |
| 小 計    | 27 | 26 | 5  | 11 | 2 | 3 | 0 | 1 | 34 | 41 |
| 合 計    | 53 |    | 16 |    | 5 |   | 1 |   | 75 |    |

\*学位取得を目的とする大学院生 6 名（医学研究科：4 名、歯学研究科：2 名）を含む

(\*) 日本国籍の交換留学生（ハワイ大学）

【年度別・学部別 学部留学生・大学院留学生学生数】

(単位：人)

|          | 医学部 | 歯学部 | 薬学部 | 保健医療学部 | 計  |
|----------|-----|-----|-----|--------|----|
| 平成 26 年度 | 37  | 4   | 7   | 2      | 50 |
| 平成 27 年度 | 37  | 9   | 6   | 9      | 61 |
| 平成 28 年度 | 33  | 5   | 6   | 6      | 50 |
| 平成 29 年度 | 45  | 13  | 5   | 2      | 65 |
| 平成 30 年度 | 49  | 14  | 5   | 1      | 69 |

## 4 地域連携

### 1. 公開講座

大学における教育・研究を広く社会に開放し、文化の向上と社会人の医療に関する知識を高めることを目的に、医系総合大学としての特色を活かした「暮らしと健康」をメインテーマとし、平成元年から昭和大学公開講座を開講しています。

今年度は、近隣のイベントと日程が重複したことにより参加者数が減少した施設があった一方、近隣掲示板への掲示箇所を増やしたことにより、昨年度より参加者数が増加した施設もありました。また、公開講座周知のため、品川区ホームページに講演動画を配信した他、各施設でそれぞれ新たな広報活動に取り組みました。

#### (1) 旗の台キャンパス

＜暮らしと健康 ～毎日を気持ちよく暮らす～＞

| 実施日/<br>参加者数         | テーマ                             | 講 師                                    |
|----------------------|---------------------------------|----------------------------------------|
| 5 月 12 日<br>(120 名)  | 増えている乳癌、その人その人に適した診断と治療を        | 明石 定子 (医学部 外科学講座<br>乳腺外科学部門 准教授)       |
|                      | 看護師が伝える、乳がん治療中に知りたい生活情報         | 我妻 志保<br>(昭和大学病院 看護部 看護師)              |
| 5 月 26 日<br>(124 名)  | 私を泌尿器科に連れてって～女性のトイレの悩みを解決しましょう～ | 前田 佳子<br>(医学部 泌尿器科学講座 講師)              |
|                      | 夏に向けて水虫を治そう！                    | 北見 由季<br>(医学部 皮膚科学講座 准教授)              |
| 11 月 10 日<br>(139 名) | アルツハイマー病とは？                     | 小野 賢二郎 (医学部 内科学講座<br>脳神経内科学部門 教授)      |
|                      | 認知症を持った人の理解～家族や地域で支えるために～       | 佐藤 啓<br>(横浜市北部病院 看護部 看護師)              |
| 11 月 24 日<br>(128 名) | ストレスからくるうつ病～症状・診断・治療について～       | 戸田 重誠<br>(医学部 精神医学講座 准教授)              |
|                      | そうだ、歯医者へ行こう！～健康づくりは口福から～        | 弘中 祥司 (歯学部 スペシャルニーズ<br>口腔医学講座 口腔衛生学部門) |

(2) 横浜キャンパス <暮らしと健康>

| 実施日/<br>参加者数        | テーマ                                   | 講 師                                   |
|---------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 5 月 19 日<br>(81 名)  | ひざの痛みを防ぐために～運動と歩き方、靴選び～               | 神原 雅典<br>(保健医療学部 理学療法学科 講師)           |
|                     |                                       | 石原 剛(昭和大学病院附属東病院<br>リハビリテーション室 理学療法士) |
| 10 月 27 日<br>(46 名) | いつまでも元気に動けるために<br>～自分の体を知ろう！対策を立てよう！～ | 佐藤 満<br>(保健医療学部 理学療法学科 教授)            |

(3) 富士吉田キャンパス <暮らしと健康>

| 実施日/<br>参加者数        | テーマ                                                      | 講 師                                  |
|---------------------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 5 月 26 日<br>(78 名)  | 自分で守ろう、自身の健康！～薬との上手なつきあい方～                               | 山元 俊憲 (公益社団法人 昭和大学<br>医学・医療振興財団 理事長) |
|                     | 薬の英語表記から見る文化の違い                                          | 遠藤 雪枝<br>(富士吉田教育部 講師)                |
| 10 月 13 日<br>(72 名) | おいしさの科学                                                  | 井上 富雄<br>(歯学部 口腔生理学講座 教授)            |
|                     | 脳に働き、心や体が動く音楽付き健康体操(音楽運動療法)とは？～音楽運動療法の心身および認知機能への健康維持効果～ | 小口 江美子 (昭和大学上條記念<br>ミュージアム準備室 特任教授)  |

(4) 歯科病院 <暮らしと健康>

| 実施日/<br>参加者数        | テーマ                          | 講 師                          |
|---------------------|------------------------------|------------------------------|
| 10 月 13 日<br>(36 名) | 御存知ですか？乳歯・永久歯が生えないこともあります    | 島田 幸恵<br>(歯学部 小児成育歯科学講座 教授)  |
|                     | 歯並びと歯の健康～矯正歯科治療中のう蝕予防管理も含めて～ | 芳賀 秀郷<br>(歯学部 矯正歯科学講座 助授)    |
|                     | お口の健康と全身の健康の関わり              | 兼田 麻矢<br>(歯科病院 歯科衛生士室 歯科衛生士) |

(5) 藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院 <暮らしと健康>

| 実施日/<br>参加者数       | テーマ                                                    | 講 師                               |
|--------------------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 7 月 28 日<br>(89 名) | 知ってますか？腎臓病？～今からでもできる腎臓ケア～「小さな腎臓が命を支える」                 | 小岩 文彦 (医学部 内科学講座<br>腎臓内科学部門 教授)   |
|                    | 知ってますか？腎臓病？～今からでもできる腎臓ケア～「知ろう、腎臓病」                     | 井上 嘉彦 (医学部 内科学講座<br>腎臓内科学部門 准教授)  |
|                    | 知ってますか？腎臓病？～今からでもできる腎臓ケア～「守ろう、腎臓」                      | 水上 礼 (医学部 内科学講座<br>腎臓内科学部門 助教)    |
|                    | 知ってますか？腎臓病？～今からでもできる腎臓ケア～「食生活を見直す、腎臓ケア～実際にしよう、見て・聞いて～」 | 玉木 大輔<br>(藤が丘病院 栄養科 管理栄養士)        |
| 3 月 9 日<br>(98 名)  | 早く見つけて治そう、胃がん、大腸がん                                     | 山本 頼正 (医学部 内科学講座<br>消化器内科学部門 准教授) |
|                    | 白内障について あれこれ                                           | 徳永 義郎<br>(医学部 眼科学講座 助教)           |

(6) 横浜市北部病院 <暮らしと健康>

| 実施日/<br>参加者数        | テーマ        | 講 師                          |
|---------------------|------------|------------------------------|
| 6 月 2 日<br>(96 名)   | 「認知症について」  | 佐藤 啓<br>(横浜市北部病院 看護部 看護師)    |
|                     |            | 富岡 大<br>(医学部 精神医学講座 講師)      |
| 10 月 13 日<br>(90 名) | 化学療法治療について | 縄田 修一<br>(薬学部 病院薬剤学講座 講師)    |
|                     | 放射線治療について  | 野田 主税<br>(横浜市北部病院 放射線技術部 部長) |

(7) 江東豊洲病院 <暮らしと健康>

| 実施日/<br>参加者数         | テーマ                      | 講 師                              |
|----------------------|--------------------------|----------------------------------|
| 7 月 7 日<br>(120 名)   | 脳卒中にならないためには、そして脳卒中になったら | 池田 尚人<br>(医学部 脳神経外科学講座 教授)       |
|                      | 室内でも危険！熱中症の予防方法          | 弘重 壽一(医学部 内科学講座<br>総合内科学部門 教授)   |
| 11 月 17 日<br>(104 名) | お口からはじめる健康～障害健康に食事するために～ | 安田 有沙<br>(歯学部 口腔外科学講座 助教)        |
|                      | 元気に食べるためには～飲み込みの障害について～  | 依田 光正(医学部 リハビリテーション<br>医学講座 准教授) |

(8) 烏山病院 <暮らしと健康>

| 実施日/<br>参加者数         | テーマ                 | 講 師                        |
|----------------------|---------------------|----------------------------|
| 8 月 18 日<br>(74 名)   | 発達障害と内科             | 阿久津 靖<br>(臨床薬理研究所 教授)      |
|                      | 発達障害と歯科             | 山口 麻子<br>(歯学部 口腔外科学講座 講師)  |
| 11 月 10 日<br>(140 名) | 成人期発達障害のデイケア、ショートケア | 佐賀 信之<br>(医学部 精神医学講座 兼任講師) |
|                      | 発達障害とジェンダー          | 横井 英樹<br>(発達障害医療研究所 臨床心理士) |

## 5 図書館

### 1. 図書の整備

旗の台キャンパスでは、資料の無断持ち出し検知システム（カウンター上の帯磁・消磁ユニット、出口の磁気検知ゲート、出入口のスイングドア）を更新しました。昭和大学学術業績リポジトリについては、全文部分を国立情報学研究所の共用リポジトリサービスに移管して、運用の効率化を図る計画を立てました。

電子ジャーナルの購入については、値上りへの対策として、利用頻度が少ない、論文単価が高いタイトルから削減しています。

#### 【蔵書数】

|          | 図書の冊数(冊) |          | 定期刊行物(種類) |       | 視聴覚資料<br>(点) | 電子ブック<br>(種類) | 電子ジャーナル<br>(種類) | データベース<br>(種類) |
|----------|----------|----------|-----------|-------|--------------|---------------|-----------------|----------------|
|          | 図書       | 開架図書(内数) | 内国書       | 外国書   |              |               |                 |                |
| 本 館      | 239,217  | 214,005  | 2,299     | 2,325 | 362          | 232           | 4,049           | 13             |
| 富士吉田校舎分室 | 38,490   | ※        | ※         | ※     | 214          |               |                 | 10             |
| 長津田校舎分室  | 44,685   | 33,599   | 459       | 90    | 3,067        |               |                 | 10             |
| 看護専門学校分室 | 20,176   | 19,869   | 174       | 4     | 30           |               |                 | 13             |
| 合 計      | 342,568  | 267,473  | 2,932     | 2,419 | 3,673        | 232           | 4,049           | -              |

※は本館に含む

#### 【利用状況】

|          | 開館(室)時間                          | 貸出者数  |       | 貸出冊数  |       |
|----------|----------------------------------|-------|-------|-------|-------|
|          |                                  | 職員・院生 | 学生    | 職員・院生 | 学生    |
| 本 館      | 月～土 9:00-22:00<br>日祝 9:00-19:00  | 2,527 | 1,607 | 5,773 | 2,582 |
| 富士吉田校舎分室 | 月～金 10:30-21:30<br>土 12:30-16:00 | 24    | 2,290 | 62    | 4,170 |
| 長津田校舎分室  | 月～金 9:00-20:00<br>土 13:00-17:00  | 742   | 2,652 | 1,576 | 5,737 |
| 看護専門学校分室 | 月～金 9:00-22:00<br>土日祝 9:00-17:00 | 683   | 1,209 | 1,426 | 1,886 |

## 6 診療施設

### 1. 昭和大学病院

#### (1) 特定機能病院の機能充実

特定機能病院として高度医療を提供すべく、“高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等評価委員会”を通じて新規医療の実践を図ることと、“ダヴィンチ・サージカルシステムを用いたロボット手術”の新規術式の導入と新規術式資格保有者の拡大を推進し、手術件数の増加を目指しました。また、平成29年2月に日本貿易振興機構(JETRO)の支援事業に基づき、導入した「遠隔集中治療プログラム(eICU)」の構築・稼働についても、昭和大学病院と江東豊洲病院間をネットワークでつなぎ、それぞれのICU患者の状態・データを支援センターの医師や看護師がモニタリングするシステムが順調に稼働しており、高度医療を実践する医療機関の役割を果たしています。

#### (2) 昭和大学病院の施設整備計画

昭和大学あり方委員会での答申事項を踏まえ、入院棟10階病棟に無菌室の増設工事を行い、高い稼働で収益率向上を図りました。

#### (3) IVR装置、リニアック装置の更新

設置から20年経過した中央棟2階IVR装置の更新を実施しました。リニアック装置については、来年7月工事完成とトモセラピー装置設置後、10月ごろの稼働開始を目指し、順調に工事を進めています。

#### (4) 働き方改革の推進

平成29年度よりシフト勤務体制を導入し、各自の労働時間の管理の認識の強化を図りました。医師の働き方改革への意識向上とシフト勤務体制の共有理解のため、昭和大学病院では“シフト表改善サポートチーム”を組織し、シフト作成の方針に基づいて診療体制を構築するための支援と、ワークショップを実施しました。

#### (5) eラーニングの活用による職員教育・研修の充実

職員教育においては、医療安全・感染対策講習会を全職員に対してeラーニングを活用し、計画に基づいて継続的な教育・研修を行いました。

#### (6) 組織再編による診療機能の充実

平成30年4月から“てんかんセンター”を開設し、難治性てんかんにおいても、患者の病態に合わせて治療を選択することが可能となり、小児科・脳神経外科・脳神経内科・精神神経科が連携し、充実した体制のもと運営を開始しました。平成30年11月から“脊椎外科センター”を開設し、内視鏡手術から脊柱変形手術まで、高難度な手術の経験を豊富に有するチームが診療にあたり、脊椎に由来するあらゆる痛みや麻痺の原因を正確に診断し、それぞれの病態に合わせた最適な治療法を選択することにより、患者の症状の改善、QOL(生活の質)の向上を図りました。

#### (7) ベッドコントロール管理室の強化について

ベッドコントロール管理室の権限を強化し、一般病棟以外のクリティカル病棟(ICU、HCU等)のベッドコントロールにも介入することにより、全体の病床稼働率向上に繋がりました。

#### (8) 12号館改修

卒後臨床研修評価機構(JCEP)による臨床研修評価受審にむけて、病院内に設置してある研修医専用控室に加えて、12号館にも研修医専用控室を新設しました。電子カルテの端末やデスクやソファなどの備品を備え、研修医が利用するためのスペースを十分に確保しました。

## 2. 昭和大学病院附属東病院

### (1) 収支バランスのとれた安定した病院運営

病院の診療機能の充実のため、睡眠医療センター・呼吸ケアセンターを新設し、新たな患者獲得を推進しました。また、大学病院から東病院へ移転した整形外科についても、順調に外来患者と入院患者を増やしました。これにより、手術件数も増加し医療収入増加に繋がりました。

### (2) 電子カルテ導入による医療の充実

平成 30 年 1 月に電子カルテを導入した結果、効率的な運用ができるようになりました。また、旧診療録管理室は、新たな診療科の外来診察室として機能を変えて稼働しました。

### (3) 呼吸ケアセンター新設

平成 30 年 4 月に呼吸ケアセンターを新設しました。肺炎や慢性閉塞性肺疾患等の肺領域の対象患者に対し、診療を行いました。また、大学病院としての安定した患者の引取り体制を整えました。

### (4) 睡眠医療センター新設

平成 30 年 4 月に睡眠医療センターを新設しました。閉塞性および中枢性の睡眠時無呼吸症候群、過眠症を対象に診療を行いました。

### (5) ベッドコントロール管理室の権限強化

ベッドコントロール管理室の権限を強化し、各診療科や看護部と連携を取ることで、情報共有を密にした体制強化を図りました。病床稼働についても一時的ではありますが、稼働率 100%を超えることが出来ました。

## 3. 藤が丘病院

### (1) 職員労働環境の向上

医師のシフトによる勤務管理導入後、各診療科の面接を実施、問題点等の改善を行い、シフト制の精度を高め、職員時間外労働の削減等労働環境の向上に繋がりました。

### (2) 診療の充実

救急受入れ体制の見直しにより受入れ可否時間が大幅に短縮しました。また、長期連休時等の医師配置強化により救急搬送患者、救急入院患者が増加しました。腫瘍センターについては、化学療法の実施件数増加に対応した体制見直しを行い、また、小児・AYA 世代がんセンターは、委員会を中心に活動の強化を行いました。

### (3) 広報活動の充実

全診療科から医療推進委員を選任し、医師会と連携を取りながら、医療機関訪問や地域医療機関との講演会・勉強会等を実施しました。

### (4) 直接医療経費の適正管理

医療材料の新規採用や緊急購入等の運用見直しを行いました。また、ジェネリック医薬品の促進も行い、使用率も増加傾向となりました。

### (5) 病棟・手術室運営の効率化

新入院患者数については、毎月、目標達成状況を診療科別に確認し、面談等で新入院患者増加策を講じました。また、リハビリテーション病院を含めたベッドコントロール運用の強化を行い、高稼働時にもスムーズに対応できるようになりました。手術室については空枠有効利用の運用を見直し、手術件数増加に繋がりました。

#### 4. 藤が丘リハビリテーション病院

##### (1) 横浜3病院の連携強化

医療連携係およびベッドコントロール係を中心に藤が丘病院、リハビリテーション病院双方の転院候補者情報の効率化を図るとともに、横浜市北部病院との入退院調整ミーティングを開催のうえ連携強化を図り、病床稼働率の向上に努めました。

##### (2) 地域医療機関との連携強化

高齢化の進展に伴い医療需要が増大する中で、社会の要請に応え得る回復期機能の充実と今後策定される地域医療構想を見据え、新規に開院した医療機関等へ訪問のうえ連携体制の強化を図りました。

##### (3) 回復期病棟の機能充実

理学療法士、作業療法士を増員し、回復期リハビリテーションとしての機能を充実させました。

##### (4) リハビリテーションセンターの再整備

藤が丘病院に昭和大学口唇口蓋裂センターが開設されたことに伴い、言語訓練の充実化を図り、センターとの協力体制を構築しました。

##### (5) 機器、施設設備の評価・改善

中央監視盤更新工事、空調機更新工事、屋上防水工事等を年次計画のもと実施しました。

##### (6) 学生教育の支援体制整備

保健医療学部教育職員の増加に伴い、より一層の連携強化と共に学生支援体制が強化され、教育施設としての責務を果たしました。

#### 5. 横浜市北部病院

##### (1) 病床の有効利用促進

二次救急拠点病院として救急搬送要請患者の受入れ数向上、並びに新入院患者数増加に向けて、病院長主導のもと、ER 病棟から一般病棟への速やかな転棟・転科運用の充実、ICU 病棟の稼働率向上に向けた各部署の連携強化に努め、新入院患者数増加の方策を実施しました。

この新体制により救急搬送要請に対する受入れ率は95%を超え、100%を維持する日もあり、昨年度と比較して高率な状況を維持しています。

##### (2) 小児循環器部門移転後の体制整備

大学病院での小児循環器・成人先天性心疾患センター設立により、当院で行っていた小児循環器の外科手術およびカテーテル治療枠の再配分ならびに有効利用の見直しを行いました。

##### (3) 手術室の有効活用

全麻手術対応可能な手術室2室の新設を計画していましたが、新設した手術室の枠を十分に埋めることができる手術件数には至っていないため、平成30年度は土曜日手術件数増加に向けた方策を検討し、手術室の新設を見送ることとしました。

##### (4) 手術機器購入と電子カルテ部門システムの更新

手術室の新設は土曜日の週日化により、土曜日の手術室の稼働を向上させることを優先し、また電子カルテ部門システムについては、次年度電子カルテの更新を事業計画として計上したため、今年度は計画の実施を見送りました。

##### (5) 中長期計画に即した工事・建物設備維持管理の実施

中長期計画に則した、空調設備、中央監視システムの更新を行いました。

## 6. 江東豊洲病院

### (1) 病床高稼働による医療収入の確保

昨年度増床した ICU・CCU 病棟の 6 床増床について、高稼働を維持するため病院長をリーダーとしたベッドコントロールミーティングを週に 2 回実施し、適応手術患者の受入れを増やし高稼働を維持しました。

### (2) 高難度医療の推進

平成 31 年 1 月に経皮的心臓カテーテル治療（TAVI）の初症例を実施し、今年度は 4 症例実施しました。

### (3) 地域医療連携の推進

救急患者受入れ率の向上を図るため、週例管理会議で救急隊からの受入れに関し検証し、受入れできなかった案件については現場にフィードバックをしました。特に豊洲市場からの救急受入れについては体制強化を図ると共に、消防署にも協力を仰ぎました。また、近隣医療機関からの紹介患者数増加のための方策として、返書率および逆紹介率の向上を図りました。

### (4) 医療機器の整備

内視鏡手術装置や超音波血流計等の大型医療機器の更新・整備を実施しました。また、6～8 階に設置されている器材庫を病室に改修し、4 月以降の増床後も病床の高稼働を維持できるよう体制整備を実施しました。

## 7. 豊洲クリニック

### (1) 渉外活動の推進

年間を通して渉外活動を強化した結果、人間ドック受診者数が昨年度より大幅に増加しました。また、契約企業数についても順調に増加しました。

### (2) 受診しやすい診療体制の実現

今年度より、女性医師による受診体制を整備し、受診者の好評を得ました。

## 8. 烏山病院

### (1) 地域支援体制整備の充実

東京都の事業である精神科医療地域連携事業、および地域精神科身体合併症救急連携事業の拠点病院として、今年度は医療連携に係る連携会議（9 月、2 月）、公開講演会、および身体合併症救急に係る研修会を開催しました。

### (2) 電子カルテ導入後の体制整備

前年度に引き続き、電子カルテの懸案事項について医療情報室運営委員会を中心に改善を図りました。今年度から総合情報管理センターの協力を得て、運用面の合理化、効率化を進めました。

### (3) 薬剤管理の徹底と学生教育の質の向上

外来院内調剤の収支を分析した結果、院内調剤率 40%～50%が最も収益率が大きく、現在の院内処方率が合理的な数値であることが管理上、適正であるとして取り組みました。

### (4) 土曜週日化および入院患者受入れ体制の評価・改善

土曜週日化については一般精神科の受入れを終日実施するとともに、ショートケア、作業療法

(隔週)の受入れを行っています。また、時間外患者の受入れ強化については、不可となった事例について速やかに検証を行い、対策を講じました。併せて月例管理会議、週例管理会議、および病院運営委員会等で状況報告し、病院全体の意識改革を図りました。

## 9. 歯科病院

### (1) 歯科医療連携強化

地域歯科医師会との協議会・勉強会を開催したことで、昭和大学歯科病院の取り組みが認知され、また各歯科医師会のニーズにも応えていくべく、取り組みました。その結果、紹介患者数が月平均 60 件以上増え、紹介率も月平均 1.5%増となり、連携強化への取り組みが結果として表れました。

### (2) 土曜週日化の推進

歯科病院では、平成 29 年 12 月より土曜週日化を実施してきました。今年度一年間を通して、外来患者数は全日では一日平均患者数 764.6 名と前年度に比べ、7.5 名増と微増でしたが、土曜日のみでは一日平均患者数 658.2 名と前年度と比べ、107.9 名増となり、患者のニーズに則した診療体制が認知され、結果に繋がりました。

### (3) 施設設備・医療機器の整備

事業計画に基づき、外来歯科ユニットの更新を行うとともに、BIS コンプリートモニターシステムを更新したことで、外来診療や術後の病棟管理下における薬剤使用量の減少や患者の負担軽減に繋がり、診療環境が向上しました。また、2号棟のエレベータ更新工事を行い、職員の利便性を高め、労働環境改善しました。

## 第3章 財務の概要

### [1. 決算の概要]

#### 1. 貸借対照表の状況

平成31年3月31日現在の財産状況を示します。固定資産（土地・建物・機器備品・特定預金他）と流動資産（現金預金・未収入金他）の資産の部合計は2,139億5,646万円で、昨年度末と比べて2億3,357万円の増加となりました。

主な要因は、固定資産において近隣校地取得により12億7,618万円の増加、上條記念館建設等により建設仮勘定が24億1,384万円の増加、特定資産において校地拡充引当特定資産へ10億円、施設設備引当特定資産へ20億円の組入れにより増加となりました。

一方、固定負債（長期借入金・退職給与引当金他）と流動負債（短期借入金・未払金他）の負債の部合計は474億4,159万円で、昨年度末に比べて20億793万円減少となりました。

資産の部の合計から負債の部の合計を差し引いた「純資産の部合計」は1,665億1,486万円で、昨年度より22億4,151万円増加となりました。

#### 2. 収支計算書の状況

平成27年度より学校法人会計基準が改正され、消費収支計算書が事業活動収支計算書となり、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の3つの部門から構成されております。

この区分表示により、経常的な収支及び臨時的な収支に区分され、活動区分ごとの収支差額や段階別収支差額の把握ができるようになりました。

##### 【教育活動収支】

教育活動収入は1,139億9,035万円で、予算対比で12億2,931万円の増加となりました。

予算と比べて、学生生徒等納付金は2,396万円（0.2%）の増加、寄付金が2億4,670万円（24.7%）の減少、経常費補助金が3億164万円（5.7%）の減少、付随事業収入が2億4,123万円（19.1%）の増加、医療収入は16億1,890万円（1.7%）の増加、雑収入は6,036万円（3.4%）の減少となりました。

教育活動支出は1,116億9,731万円で、予算対比で9億1,833万円の減少となりました。

予算と比べて、人件費は8億8,158万円（1.6%）の減少、教育研究経費は8,579万円（0.1%）の減少、管理経費は5,013万円（1.2%）の増加となりました。

教育活動に係る収支差額は、22億9,303万円の収入超過となりました。

##### 【教育活動外収支】

教育活動外収支は、経常的な財務活動に係る事業活動収入及び事業活動支出をいいます。

教育活動外収入は、2億1,281万円で、予算対比で3,148万円の増加となりました。

予算と比べて、受取利息・配当金は4,776万円（54.2%）の増加、収益事業収入は1,628万円（17.4%）の減少となりました。

教育活動外支出は、借入金等利息で3億3,230万円、予算とほぼ同額となり教育活動外収支差額は1億1,949万円の支出超過となりました。

教育活動収支と教育活動外収支の合計を経常収支といい、経常収支差額は21億7,354万円の収入超過となりました。

### 【特別収支】

特別収支とは、臨時的な事業活動収入及び事業活動支出をいいます。

特別収入は、施設設備寄付金等で合計5億1,332万円となりました。

特別支出は、資産処分差額で2億1,994万円、その他の特別支出で2億2,541万円となり、特別支出合計は4億4,535万円となりました。

特別収支差額は、6,797万円の収入超過となりました。

基本金組入前当年度収支差額は、22億4,151万円の収入超過となり、事業活動収支差額比率は、1.95%となりました。

当年度の基本金組入額22億7,482万円を引いた当年度収支差額は、3,331万円の支出超過となりました。

## [ 2. 経年比較]

### 1. 貸借対照表

(単位：千円)

(単位：千円)

|                        | 平成26年度末     |             | 平成27年度末     | 平成28年度末     | 平成29年度末      | 平成30年度末      |
|------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 固定資産                   | 158,965,409 | 固定資産        | 159,800,420 | 158,757,328 | 161,094,807  | 160,806,876  |
| 流動資産                   | 52,702,915  | 流動資産        | 53,870,297  | 54,875,181  | 52,628,083   | 53,149,587   |
| 資産の部合計                 | 211,668,324 | 資産の部合計      | 213,670,717 | 213,632,509 | 213,722,890  | 213,956,463  |
| 固定負債                   | 42,065,433  | 固定負債        | 39,649,309  | 37,814,602  | 35,710,951   | 33,168,436   |
| 流動負債                   | 13,493,782  | 流動負債        | 13,553,313  | 13,185,324  | 13,738,583   | 14,273,159   |
| 負債の部合計                 | 55,559,215  | 負債の部合計      | 53,202,622  | 50,999,926  | 49,449,534   | 47,441,595   |
| 基本金の部合計                | 242,722,367 | 基本金         | 254,543,932 | 258,597,304 | 268,001,605  | 270,276,427  |
| 消費収支差額の部合計             | △86,613,258 | 繰越収支差額      | △94,075,837 | △95,964,721 | △103,728,249 | △103,761,559 |
| 純資産の部合計                |             | 純資産の部合計     | 160,468,095 | 162,632,583 | 164,273,356  | 166,514,868  |
| 負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計 | 211,668,324 | 負債及び純資産の部合計 | 213,670,717 | 213,632,508 | 213,722,890  | 213,956,462  |

## 2. 収支計算書

### (1) 資金収支計算書

(単位：千円)

| 収入の部       | 平成26年度末     |
|------------|-------------|
| 学生生徒等納付金収入 | 9,668,465   |
| 手数料収入      | 557,759     |
| 医療収入       | 79,765,931  |
| 寄付金収入      | 884,137     |
| 補助金収入      | 6,452,092   |
| 資産運用収入     | 1,483,205   |
| 資産売却収入     | 7,847,122   |
| 事業収入       | 1,085,532   |
| 雑収入        | 821,684     |
| 借入金等収入     | 0           |
| 前受金収入      | 1,896,278   |
| その他収入      | 13,478,793  |
| 資金収入調整勘定   | △15,910,340 |
| 前年度繰越支払資金  | 34,087,741  |
| 収入の部合計     | 142,118,399 |

(単位：千円)

| 収入の部        | 平成27年度末     | 平成28年度末     | 平成29年度末     | 平成30年度末     |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 学生生徒等納付金収入  | 9,588,534   | 9,444,190   | 9,359,463   | 9,380,162   |
| 手数料収入       | 533,663     | 507,162     | 528,797     | 510,332     |
| 医療収入        | 84,737,395  | 88,053,091  | 91,380,864  | 95,257,398  |
| 寄付金収入       | 953,093     | 841,376     | 868,000     | 895,325     |
| 補助金収入       | 6,274,099   | 6,360,433   | 6,234,165   | 5,123,096   |
| 資産売却収入      | 7,850,000   | 98,819      | 0           | 6,868       |
| 付随事業・収益事業収入 | 1,129,576   | 1,240,916   | 1,679,490   | 1,579,360   |
| 受取利息・配当金収入  | 499,718     | 78,800      | 120,309     | 135,818     |
| 雑収入         | 1,675,099   | 1,883,812   | 1,738,545   | 1,773,035   |
| 借入金等収入      | 0           | 0           | 0           | 0           |
| 前受金収入       | 1,856,812   | 1,814,985   | 1,872,261   | 1,840,397   |
| その他収入       | 14,948,430  | 18,086,444  | 18,137,212  | 20,982,501  |
| 資金収入調整勘定    | △17,438,715 | △17,160,679 | △17,654,904 | △18,414,745 |
| 前年度繰越支払資金   | 36,471,310  | 37,812,093  | 38,959,142  | 36,286,129  |
| 収入の部合計      | 149,079,014 | 149,061,442 | 153,223,344 | 155,355,676 |

(単位：千円)

| 支出の部      | 平成26年度末     |
|-----------|-------------|
| 人件費支出     | 45,470,435  |
| 教育研究経費支出  | 41,343,016  |
| 管理経費支出    | 3,297,186   |
| 借入金等利息支出  | 518,678     |
| 借入金等返済支出  | 2,855,920   |
| 施設関係支出    | 3,255,139   |
| 設備関係支出    | 5,345,181   |
| 資産運用支出    | 4,251,855   |
| その他の支出    | 7,192,079   |
| 資金支出調整勘定  | △7,882,400  |
| 翌年度繰越支払資金 | 36,471,310  |
| 支出の部合計    | 142,118,399 |

(単位：千円)

| 支出の部      | 平成27年度末     | 平成28年度末     | 平成29年度末     | 平成30年度末     |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 人件費支出     | 46,855,765  | 48,115,378  | 50,492,464  | 51,370,707  |
| 教育研究経費支出  | 43,663,069  | 45,150,806  | 47,298,131  | 48,398,611  |
| 管理経費支出    | 3,489,972   | 3,456,815   | 3,484,446   | 3,660,539   |
| 借入金等利息支出  | 472,230     | 426,377     | 380,899     | 332,306     |
| 借入金等返済支出  | 2,788,920   | 2,763,920   | 2,542,920   | 2,542,920   |
| 施設関係支出    | 3,701,591   | 2,719,502   | 5,711,012   | 4,737,622   |
| 設備関係支出    | 4,694,877   | 2,836,452   | 4,672,807   | 1,709,622   |
| 資産運用支出    | 5,385,612   | 3,668,764   | 2,859,274   | 6,292,557   |
| その他の支出    | 8,225,619   | 8,533,358   | 7,941,280   | 8,758,278   |
| 資金支出調整勘定  | △8,010,734  | △7,569,072  | △8,446,018  | △8,509,347  |
| 翌年度繰越支払資金 | 37,812,093  | 38,959,142  | 36,286,129  | 36,061,861  |
| 支出の部合計    | 149,079,014 | 149,061,442 | 153,223,344 | 155,355,676 |

## (2) 活動区分資金収支計算書

(単位：千円)

| 科 目                              | 平成27年度末     | 平成28年度末     | 平成29年度末     | 平成30年度末     |
|----------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 教育活動による資金収支                      |             |             |             |             |
| 教育活動資金収入計                        | 104,502,049 | 107,970,823 | 111,275,669 | 113,988,157 |
| 教育活動資金支出計                        | 93,954,854  | 96,690,513  | 101,265,576 | 103,408,221 |
| 差引                               | 10,547,195  | 11,280,310  | 10,010,093  | 10,579,936  |
| 調整勘定等                            | △1,075,802  | △470,512    | 82,385      | △561,708    |
| 教育活動資金収支差額                       | 9,471,393   | 10,809,798  | 10,092,478  | 10,018,228  |
| 施設設備等活動による資金収支                   |             |             |             |             |
| 施設設備等活動資金収入計                     | 1,012,834   | 1,724,521   | 2,700,008   | 3,642,249   |
| 施設設備等活動資金支出計                     | 10,625,381  | 7,617,109   | 12,935,842  | 11,076,443  |
| 差引                               | △9,612,547  | △5,892,588  | △10,235,834 | △7,434,194  |
| 調整勘定等                            | △391,024    | 73,284      | 163,195     | △101,622    |
| 施設設備等活動資金収支差額                    | △10,003,571 | △5,819,304  | △10,072,639 | △7,535,816  |
| 小計（教育活動資金収支差額<br>＋施設設備等活動資金収支差額） | △532,178    | 4,990,494   | 19,839      | 2,482,412   |
| その他の活動による資金収支                    |             |             |             |             |
| その他の活動資金収入計                      | 8,687,790   | 1,414,140   | 918,652     | 2,210,387   |
| その他の活動資金支出計                      | 6,814,829   | 5,257,585   | 3,611,504   | 4,917,067   |
| 差引                               | 1,872,961   | △3,843,445  | △2,692,852  | △2,706,681  |
| 調整勘定等                            | 0           | 0           | 0           | 0           |
| その他の活動資金収支差額                     | 1,872,961   | △3,843,445  | △2,692,852  | △2,706,680  |
| 支払資金の増減額（小計＋その他の<br>活動資金収支差額）    | 1,340,783   | 1,147,049   | △2,673,013  | △224,268    |
| 前年度繰越支払資金                        | 36,471,310  | 37,812,093  | 38,959,142  | 36,286,129  |
| 翌年度繰越支払資金                        | 37,812,093  | 38,959,142  | 36,286,129  | 36,061,861  |

### (3) 事業活動収支計算書

(消費収支計算書)

(単位：千円)

| 収入の部     | 平成26年度末     |
|----------|-------------|
| 学生生徒等納付金 | 9,668,465   |
| 手数料      | 557,759     |
| 医療収入     | 79,765,931  |
| 寄付金      | 936,569     |
| 補助金      | 6,452,092   |
| 資産運用収入   | 1,483,205   |
| 資産売却差額   | 1,793,977   |
| 事業収入     | 1,085,532   |
| 雑収入      | 822,752     |
| 帰属収入合計   | 102,566,282 |
| 基本金組入額合計 | △7,691,528  |
| 消費収入の部合計 | 94,874,754  |

| 消費支出の部       | 平成26年度末    |
|--------------|------------|
| 人件費          | 45,871,098 |
| 教育研究経費       | 48,644,575 |
| 管理経費         | 3,696,044  |
| 借入金等利息       | 518,678    |
| 資産処分差額       | 948,705    |
| 徴収不能引当金繰入額   | 49,669     |
| 消費支出の部合計     | 99,728,769 |
| 当年度消費支出超過額   | 4,854,015  |
| 前年度繰越消費収支超過額 | 81,759,244 |
| 基本金取崩額       | 0          |
| 翌年度繰越消費収支超過額 | 86,613,258 |

(事業活動収支計算書)

(単位：千円)

| 科 目     | 平成27年度末     | 平成28年度末     | 平成29年度末     | 平成30年度末     |
|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 教育活動収支  | 事業活動収入の部    |             |             |             |
|         | 学生生徒等納付金    | 9,588,534   | 9,444,190   | 9,359,463   |
|         | 手数料         | 533,664     | 507,162     | 528,797     |
|         | 寄付金         | 898,128     | 775,932     | 766,976     |
|         | 経常費等補助金     | 5,941,919   | 6,075,191   | 5,976,976   |
|         | 付随事業収入      | 1,129,577   | 1,240,916   | 1,614,370   |
|         | 医療収入        | 84,737,396  | 88,053,091  | 91,380,864  |
|         | 雑収入         | 1,675,273   | 1,899,374   | 1,652,464   |
|         | 教育活動収入計     | 104,504,491 | 107,995,856 | 111,279,910 |
|         | 事業活動支出の部    |             |             |             |
|         | 人件費         | 47,188,737  | 48,797,963  | 50,805,365  |
|         | 教育研究経費      | 51,615,153  | 52,711,082  | 54,990,031  |
|         | 管理経費        | 3,862,920   | 3,802,357   | 3,873,461   |
|         | 徴収不能額等      | 54,308      | 57,098      | 146,366     |
|         | 教育活動支出計     | 102,721,118 | 105,368,500 | 109,815,223 |
|         | 教育活動収支差額    | 1,783,373   | 2,627,356   | 1,464,687   |
| 教育活動外収支 | 事業活動収入の部    |             |             |             |
|         | 受取利息・配当金    | 499,718     | 78,800      | 120,309     |
|         | その他の教育活動外収入 | 0           | 0           | 65,119      |
|         | 教育活動外収入計    | 499,718     | 78,800      | 185,428     |
|         | 事業活動支出の部    |             |             |             |
|         | 借入金等利息      | 472,231     | 426,377     | 380,898     |
|         | その他の教育活動外支出 | 0           | 0           | 0           |
|         | 教育活動外支出計    | 472,231     | 426,377     | 380,898     |
|         | 教育活動外収支差額   | 27,487      | △347,577    | △195,470    |
|         | 経常収支差額      | 1,810,860   | 2,279,779   | 1,269,217   |

(単位：千円)

| 科 目           |          | 平成27年度        | 平成28年度        | 平成29年度         | 平成30年度         |
|---------------|----------|---------------|---------------|----------------|----------------|
| 特別収支          | 事業活動収入の部 |               |               |                |                |
|               | 資産売却差額   | 2, 209, 127   | 0             | 0              | 2, 248         |
|               | その他の特別収入 | 450, 065      | 419, 925      | 486, 398       | 511, 079       |
|               | 特別収入計    | 2, 659, 192   | 419, 925      | 486, 398       | 513, 327       |
|               | 事業活動支出の部 |               |               |                |                |
|               | 資産処分差額   | 56, 913       | 265, 356      | 102, 057       | 219, 943       |
|               | その他の特別支出 | 54, 153       | 269, 861      | 12, 785        | 225, 414       |
|               | 特別支出計    | 111, 066      | 535, 217      | 114, 842       | 445, 357       |
|               | 特別収支差額   | 2, 548, 126   | △115, 292     | 371, 556       | 67, 970        |
| 基本金組入前当年度収支差額 |          | 4, 358, 986   | 2, 164, 487   | 1, 640, 773    | 2, 241, 511    |
| 基本金組入額合計      |          | △11, 821, 565 | △4, 053, 371  | △9, 404, 300   | △2, 274, 822   |
| 当年度収支差額       |          | △7, 462, 579  | △1, 888, 884  | △7, 763, 527   | △33, 311       |
| 前年度繰越収支差額     |          | △86, 613, 259 | △94, 075, 837 | △95, 964, 721  | △103, 728, 249 |
| 基本金取崩額        |          | 0             | 0             | 0              | 0              |
| 翌年度繰越収支差額     |          | △94, 075, 838 | △95, 964, 721 | △103, 728, 248 | △103, 761, 560 |
| (参考)          |          |               |               |                |                |
| 事業活動収入計       |          | 107, 663, 401 | 108, 494, 581 | 111, 951, 736  | 114, 716, 492  |
| 事業活動支出計       |          | 103, 304, 415 | 106, 330, 094 | 110, 310, 963  | 112, 474, 981  |

### [ 3. 主な財務比率比較]

| 比 率 名          | 算 式           | H26年度末  |
|----------------|---------------|---------|
| 帰属収支差額<br>比率   | 帰属収入<br>－消費支出 | 2. 8%   |
|                | 帰属収入          |         |
| 消費収支比率         | 消費支出          | 105. 1% |
|                | 消費収入          |         |
| 学生生徒等<br>納付金比率 | 学生生徒納付金       | 9. 4%   |
|                | 帰属収入          |         |
| 人件費比率          | 人件費           | 44. 7%  |
|                | 帰属収入          |         |
| 教育研究経費<br>比率   | 教育研究経費        | 47. 4%  |
|                | 帰属収入          |         |
| 管理経費比率         | 管理経費          | 3. 6%   |
|                | 帰属収入          |         |
| 流動比率           | 流動資産          | 390. 6% |
|                | 流動負債          |         |
| 負債比率           | 総負債           | 35. 6%  |
|                | 自己資金※ 1       |         |
| 自己資金構成<br>比率   | 自己資金          | 73. 8%  |
|                | 総資金 ※ 2       |         |
| 基本金比率          | 基本金           | 92. 5%  |
|                | 基本金要組入額       |         |

| 比 率 名            | 算 式                | H27年度末  | H28年度末  | H29年度末  | H30年度末  |
|------------------|--------------------|---------|---------|---------|---------|
| 事業活動収支<br>差額比率   | 基本金組入前当<br>年度収支差額  | 4. 0%   | 2. 0%   | 1. 5%   | 2. 0%   |
|                  | 事業活動収入計            |         |         |         |         |
| 基本金組入後<br>収支比率   | 事業活動支出             | 107. 8% | 101. 8% | 107. 6% | 100. 0% |
|                  | 事業活動収入計<br>－基本金組入額 |         |         |         |         |
| 学生生徒等<br>納付金比率   | 学生生徒等納付金           | 9. 1%   | 8. 7%   | 8. 4%   | 8. 2%   |
|                  | 経常収入               |         |         |         |         |
| 人件費比率            | 人件費                | 44. 9%  | 45. 2%  | 45. 6%  | 45. 0%  |
|                  | 経常収入               |         |         |         |         |
| 教育研究経費<br>比率     | 教育研究経費             | 49. 2%  | 48. 8%  | 49. 3%  | 49. 2%  |
|                  | 経常収入               |         |         |         |         |
| 管理経費比率           | 管理経費               | 3. 7%   | 3. 5%   | 3. 5%   | 3. 6%   |
|                  | 経常収入               |         |         |         |         |
| 流動比率             | 流動資産               | 397. 5% | 416. 2% | 383. 1% | 372. 4% |
|                  | 流動負債               |         |         |         |         |
| 負債比率             | 総負債                | 33. 2%  | 31. 4%  | 30. 1%  | 28. 5%  |
|                  | 純資産                |         |         |         |         |
| 純資産構成<br>比率      | 純資産                | 75. 1%  | 76. 1%  | 76. 9%  | 77. 8%  |
|                  | 負債＋純資産             |         |         |         |         |
| 基本金比率            | 基本金                | 93. 8%  | 94. 5%  | 95. 6%  | 96. 7%  |
|                  | 基本金要組入額            |         |         |         |         |
| 教育活動資金<br>収支差額比率 | 教育活動資金収支差額         | 9. 1%   | 10. 0%  | 9. 1%   | 8. 8%   |
|                  | 教育活動資金収入計          |         |         |         |         |

※ 1 自己資金＝基本金＋消費支出差額

(注) 「経常収入」＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

※ 2 総 資 金＝負債＋基本金＋消費支出差額

## [ 4. その他]

### 1. 借入金の状況

| 借入先            | 借入残高         | 利 率         | 返済期限                   | 摘 要                |
|----------------|--------------|-------------|------------------------|--------------------|
| 日本私立学校振興・共済事業団 | 4,277,680千円  | 1.3%～2.0%   | 令和元年9月<br>～<br>令和12年9月 | 使途：施設費<br>担保：土地、建物 |
| 日本政策投資銀行       | 680,000千円    | 0.7%        | 令和4年9月                 | 使途：施設費<br>担保：土地、建物 |
| 福祉医療機構         | 1,241,630千円  | 1.8%        | 令和5年5月                 | 使途：施設費<br>担保：土地    |
| 市中金融機関         | 6,446,470千円  | 0.62%～2.47% | 令和5年9月<br>～<br>令和8年2月  | 使途：施設費<br>担保：土地、建物 |
| 合 計            | 12,645,780千円 |             |                        |                    |

### 2. 寄付金の状況

| 寄付金の種類      | 寄付者              | 金 額       | 摘 要 |
|-------------|------------------|-----------|-----|
| 一般寄付金       | 保護者              | 79,645千円  |     |
| 創立90周年事業寄付金 | 一般、教職員、同窓生、保護者ほか | 141,920千円 |     |

### 3. 補助金の状況

補助金収入は51億2,309万円で、予算対比で3億1,468万円の減少となりました。

予算と比べて、国庫補助金が3億5,761万円（7.3%）の減少、地方公共団体補助金が4,592万円（9.1%）の増加となりました。

国庫補助金のうち私立大学等経常費補助金の受給額は、私立大学等経常費補助金取扱要領の規定に基づき、25%に相当する額14億5,608万円が減額となりました。

### 4. 関連当事者等との取引の状況

#### （出資会社）

| 会社等の名称   | 事業内容              | 資本金等     | 出資割合 | 取引の内容           | 保証債務等        |
|----------|-------------------|----------|------|-----------------|--------------|
| 昭友商事株式会社 | 大学及び病院施設・設備の管理業務等 | 10,000千円 | 100% | 施設賃貸、物品購入・業務委託等 | 債務保証を行っていない。 |